

令和8年度

# 経営情報学部履修要項



静岡県立大学  
UNIVERSITY OF SHIZUOKA

# 履 修 要 項

## 年間行事予定表

履修案内	.....	P 1
1	はじめに	
2	単位制	
3	教育方針	
4	CAP（キャップ）制（平成 27 年度以降入学生対象）	
5	メジャー制（平成 31 年度以降入学生対象）	
6	授業科目	
7	授業	
8	履修申告	
9	メジャーに関する科目の履修（平成 31 年度以降入学生対象）	
10-1	学習成果の把握（令和 6 年度以降入学生対象）	
10-2	学習成果の把握（令和 4 年度以降入学生対象）	
1 1	教職課程授業科目の履修	
1 2	英語科目の履修	
1 3	他学部の授業科目の履修	
1 4	静岡大学（人文学部及び教育学部）の科目の履修	
1 5	交流協定大学で取得した単位の認定	
1 6	試験	
1 7	学修の評価	
1 8	卒業・留年	
1 9	教職課程	
2 0	その他	

### 【参考資料】履修方法について

授業科目一覧（全学共通科目：全学生用）	.....	P 20
授業科目一覧（令和 8 年度以降入学生用）	.....	P 22
授業科目一覧（令和 6 年度以降入学生用）	.....	P 26
授業科目一覧（令和 2 年度以降入学生用）	.....	P 30
授業科目一覧（平成 31 年度入学生用）	.....	P 35
履修細則（令和 6 年度以降入学生用）	.....	P 45

### 【注 意】

履修要項の再発行はできません。卒業後も履修要項が必要となる場合がありますので、各自で保管して下さい。

# 令和8年度 静岡県立大学年間授業予定表

2026年4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			2027年1月			2月			3月					
日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事
1	水	学年・前期開始	1	金	金3	1	月	月7	1	水	水11	1	土	土16 補講可能日(1-3限)	火			1	木	木1	1	日		1	火	推薦・帰国生徒 入試※	1	金	元日	1	月	月14	1	月				
2	木		2	土	土4	2	火	火7	2	木	木11	2	日		2	水		2	金	金1	2	月	月5	2	水	水8	2	土		2	火	火15	2	火				
3	金	春期休業終了	3	日	憲法記念日	3	水	水7	3	金	金12	3	月	月16	3	木		3	土	土1	3	火	文化の日	3	木	木9	3	日		3	水	水15	3	水				
4	土		4	月	みどりの日	4	木	木7	4	土	土13	4	火	火16	4	金		4	日		4	水	火5【変則】	4	金	金9	4	月		4	木	木16	後期試験	木				
5	日		5	火	こどもの日	5	金	金8	5	日		5	水	水16	5	土		5	月	月1	5	木	木6	5	土	土9	5	火	冬期休業終了	5	金	金15	5	金				
6	月	ガイダンス	6	水	振替休日	6	土	土9	6	月	月12	6	木	木16	6	日		6	火	火1	6	金	金5	6	日		6	水	水11	6	土	土16	6	土				
7	火	ガイダンス	7	木	木3	7	日		7	火	火12	7	金	金16	7	月		7	水	水1	7	土	土5	7	月	月9	7	木	木12	7	日		7	日				
8	水	ガイダンス	8	金	金4	8	月	月8	8	水	水12	8	土		8	火		8	木	木2	8	日		8	火	火9	8	金	金12	8	月	月15	8	月	入試中期※			
9	木	入学式	9	土	土5	9	火	火8	9	木	木12	9	日		9	水		9	金	月2【変則】	9	月	月6	9	水	水9	9	土	土13	9	火	火16	9	火				
10	金	金1	10	日		10	水	水8	10	金	金13	10	月		10	木		10	土	土2	10	火	火6	10	木	木10	10	日		10	水	水16	10	水				
11	土	土1 新入生 歓迎行事	11	月	月4	11	木	木8	11	土	土14	11	火	山の日	11	金		11	日		11	水	水5	11	金	金10	11	月	成人の日	11	木	建国 記念の日	11	木				
12	日		12	火	火4	12	金	金9	12	日		12	水		12	土		12	月	スポーツの日	12	木	木7	12	土	土10	12	火	火12	12	金	金16	12	金	後期入試			
13	月	月1	13	水	水4	13	土	土10	13	月	月13	13	木	大学休業日	13	日		13	火	火2	13	金	金6	13	日		13	水	水12	13	土	補講可能日 (1-3限)	13	土	後期試験			
14	火	火1	14	木	木4	14	日		14	火	火13	14	金	大学休業日	14	月		14	水	水2	14	土	土6	14	月	月10	14	木	木13	14	日		14	日				
15	水	水1	15	金	金5	15	月	月9	15	水	水13	15	土	夏期休業開始 大学休業日	15	火	夏期休業終了	15	木	木3	15	日		15	火	火10	15	金	試験準備 (休講)	15	月	月16	15	月				
16	木	木1	16	土	土6	16	火	火9	16	木	木13	16	日		16	水		16	金	金2	16	月	月7	16	水	水10	16	土	共通テスト※	16	火							
17	金	開学記念行事	17	日		17	水	水9	17	金	金14	17	月		17	木		17	土	土3	17	火	火7	17	木	木11	17	日	共通テスト※	17	水							
18	土	土2	18	月	月5	18	木	木9	18	土	土15	18	火		18	金		18	日		18	水	水6	18	金	金11	18	月	月12	18	木	学位記授与式						
19	日		19	火	火5	19	金	金10	19	日		19	水		19	土		19	月	月3	19	木	月8【変則】	19	土	土11	19	火	火13	19	金							
20	月	月2 開学記念日	20	水	水5	20	土	土11	20	月	海の日	20	木		20	日		20	火	火3	20	金	金7	20	日		20	水	水13	20	土							
21	火	火2	21	木	木5	21	日		21	火	火14	21	金	県民の日	21	月	敬老の日	21	水	水3	21	土	土7	21	月	月11	21	木	木14	21	日		21	日	春分の日 春期休業開始			
22	水	水2	22	金	金6	22	月	月10	22	水	水14	22	土		22	火	国民の休日	22	木	木4	22	日		22	火	火11	22	金	金13	22	月		22	月	振替休日			
23	木	木2	23	土	土7	23	火	火10	23	木	木14	23	日		23	水	秋分の日	23	金	金3	23	月	勤労感謝の日	23	水		23	土	土14	23	火	天皇誕生日	23	火				
24	金	金2	24	日		24	水	水10	24	金	月14【変則】	24	月		24	木		24	土	剣祭	24	火	火8	24	木		24	日		24	水		24	水				
25	土	土3	25	月	月6	25	木	木10	25	土	補講可能日 (1-3限)	25	火		25	金		25	日		25	水	水7	25	金		25	月	月13	25	木	入試前期※	25	木				
26	日		26	火	火6	26	金	金11	26	日		26	水		26	土		26	月	月4	26	木	木8	26	土	土12	26	火	火14	26	金							
27	月	月3	27	水	水6	27	土	土12	27	月	月15	27	木		27	日		27	火	火4	27	金	金8	27	日		27	水	水14	27	土							
28	火	火3	28	木	木6	28	日		28	火	火15	28	金		28	月		28	水	水4	28	土	土8	28	月	冬期休業開始	28	木	木15	28	日							
29	水	昭和の日	29	金	金7	29	月	月11	29	水	水15	29	土		29	火		29	木	木5	29	日		29	火		29	金	金14	29	月							
30	木	水3【変則】	30	土	土8	30	火	火11	30	木	木15	30	日		30	水	前期終了	30	金	金4	30	月	休講	30	水		30	土	土15 補講可能日 (1-3限)	30	火							
			31	日					31	金	金15	31	月					31	土	土4				31	木		31	日		31	水							
前期及び通年科目の履修登録(下旬まで)												後期科目の履修登録(中旬まで)																										

  は休業日  
赤字 は、主な行事、注意が必要な休講日、入構禁止日  
  は通常授業が行われない日  
青字 は、変則日程

**【注意事項】**  
 ・※印の日は入試のため大学構内への入構制限あり。一般学生は入構できません。  
 ・定期試験期間：各学期の16回目。ただし、科目により異なるため詳細は試験日程一覧表又は科目毎の指示に従ってください。  
 ・補講日：科目の開講状況により、各学期の補講可能日(1~3限)、または科目による個別の指定日に補講を行う可能性があります。



# 履修案内

## 1 はじめに

この「履修案内」は、大学での授業の仕組みとその履修に必要な手続き等を、本学学則及び履修細則に従って解説したものである。授業の内容や事務上の手続きをよく知らなかったために学修におもわぬ支障をきたすことがあるので、そのようなことのないよう、この「履修案内」を十分活用すること。また、4月に行われるガイダンスを必ず受けるとともに、なお不明な点は学生室または指導教員を訪ね相談すること。

以下、単位制、授業科目、授業、履修登録、試験、評価、卒業等について記してあるので、熟読のうえ今後の学修に役立ててほしい。

## 2 単位制

### (1) 単位制とは

単位とは、一定の質の勉強ないし学修の量を示す基準となるものである。大学で開講している各科目にはそれぞれ単位数が定められており、これらの科目を履修して試験に合格すれば、単位が修得できることになっている。

本学における学修は、すべて単位数によってその達成度が測られ、進級及び卒業の可否が決定される。

これが単位制である。

本学部では、授業科目ごとに配当年次が定められており、在学年次より上位の年次に配当される授業科目は原則として履修することができない。つまり、低学年次に配当されている必修科目は低学年のうちに履修しておく必要がある。

### (2) 単位と時間数

① 授業は前期・後期の2学期に分けて実施され、15週をもって1学期、30週をもって1学年とする。

② 1単位の履修時間は、教室の内外合わせて45時間である。従って、1科目につき教室内外の3時間の学修を15週間行って1単位となる。ただし本学では、授業時間割の1時限を2時間とみなしている。

③ 科目の単位は次の基準によって定められている。

区 分	授業時間	自習時間	計	備 考
講 義	1 5	3 0	4 5	
外 国 語・演習等	3 0	1 5	4 5	英語科目、身体運動科学など
実験・実習・実技	4 5	—	4 5	

以上のように1単位と計算される勉強の時間量には、教室内における講義だけでなく、学生の自学自習時間をふくめて計算することになっている。従って、学生の自主的勉強は、大学生活の不可欠の要素として重視されている。

### 3 教育方針

#### (1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

経営情報学部は、静岡県立大学学則に定める本学部の「人材養成等教育研究上の目的」を達成するため、教育課程（カリキュラム）を編成・実施しているが、学位（経営情報学）の授与に関する基本的な考え方は以下のとおりである。

『経営』『総合政策』『データサイエンス』『観光マネジメント』の4分野の融合と専門性により、現代社会の各分野でイノベーションを担う問題解決型の人材を育成する」

経営情報学部は、経営能力、政策企画力、情報学的解決能力を兼ね備え、これに加えて観光についての知識と能力を有し、社会の各分野においてイノベーションを担うことにより現代社会の課題を解決して、企業や地域社会に貢献する人材の育成を目標としている。学生は、所定の科目を習得することで学士（経営情報学）の学位を授与されるが、授与に際して以下の内容が重視される。

1. 「経営」「総合政策」「情報」「観光」「数理」を深く学ぶことによって、それらを活用することができる能力を身に付けている。
2. 自ら研究課題を設定し、必要な情報を収集・分析して、論理的な思考力によって課題を探究し、克服していく能力と、自己の見解を文字及び口頭で表現できる能力を備えている。
3. 企業や地域社会への高い関心とそれらへの貢献に対する意欲を持ち、社会の様々な場で円滑なコミュニケーションを図ることができる。
4. 習得した知識や技能を柔軟に応用し、実社会で十分に活躍できる能力がある。

#### (2) 教育課程の編成・実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

経営情報学部は、静岡県立大学学則に定める本学部の「人材養成等教育研究上の目的」を達成するため、以下の方針にしたがって教育課程（カリキュラム）を編成し、実施する。

1. 「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」の4分野の専門的能力及びそれらを融合的に活用できる能力を育成するため、教育課程を編成する。
2. 授業の形態（講義・演習）と規模の適切な選択に基づき、効果的な教育方法を用いた授業を実施する。
3. 「経営」「総合政策」「情報」「観光」「数理」「英語」についての基礎的な知識や技術について習得するための学部基礎科目を配置する。
4. 「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」について、より高度な専門性を身に付けるため、専門科目群を配置して、体系的・順次的に学習を進めるために配当年次を設定する。また、各分野の境界的・融合的な能力を身に付けるための複合科目を配置する。高度な専門性を身につけた学生に対して、「経営」「総合政策」「データサイエンス」「観光マネジメント」のメジャーを認定する。
5. 少人数で実施されるゼミに所属して、「演習」等によって特定領域の研究を深め、学修の成果を卒業研究として完成させる。
6. 高等学校教諭一種免許状「数学」「情報」「商業」、簿記検定試験などの資格取得に必要な科目を設置する。
7. 授業内容を習得するために十分な学習時間を確保することを目的として、GPA（成績評価平均値）に基づくCAP制（履修登録単位数制限）を設定する。

## 4 CAP (キャップ) 制

### (1) CAP (キャップ) 制とは

- ① CAP (キャップ) 制とは、各学期において履修科目を取り過ぎることによる弊害 (学修レベルの低下等) を避けるため、各学期の履修登録できる単位数に上限を設けるものである。
- ② 1年次前期を除いて学期ごとに履修登録できる単位数は、GPA(グレード・ポイント・アベレージ)の数値に基づいて上限が設けられる。GPAは国際標準となっている成績評価の基準で、以下の表および式に基づき計算された履修登録された全科目のGP (グレード・ポイント) の平均値で表される。不可となった科目はGPが0として計算されるので注意すること。

学修評価	GP (グレード・ポイント)
秀	4
優	3
良	2
可	1
不可	0

$$\text{GPA} = (4 \times \text{秀の単位数} + 3 \times \text{優の単位数} + 2 \times \text{良の単位数} + 1 \times \text{可の単位数}) / \text{総履修単位数}$$
  
の小数第2位を四捨五入し、小数第1位までにした値

なお、不可となった科目については、再履修した場合の成績により成績は変更できる。その場合、成績証明書に「不可」の記載は示されないが、成績原簿には履修の記録として残されるので、GPAの計算に際してはカウントされる。また、GPAは卒業研究履修資格の認定及び卒業要件には使用しない。

- ③ 履修登録単位数制限は、入学年度により異なる。

#### (令和4年度以降入学生)

- ・当学期の直前に在学していた学期のGPAが 3.0未満なら24単位、3.0以上ならば30単位
- ・履修登録単位数制限には、海外英語研修科目を含まない。
- ・1年次前期の履修登録科目単位数の上限は、24単位とする。

#### (令和2年度および令和3年度入学生)

- ・当学期の直前に在学していた学期のGPAが 3.0未満なら24単位、3.0以上ならば30単位
- ・履修登録単位数制限には、研究導入演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、集中講義対象科目、海外英語研修科目、経営情報総合C、経営情報総合D、及び卒業研究は含まない。
- ・1年次前期の履修登録科目単位数の上限は、24単位とする。

#### (平成31年度以前の入学生)

- ・GPAが 2.2未満なら 24 単位、2.2以上 3.0未満なら30 単位、3.0以上ならば無制限
- ・履修登録単位数制限には、研究導入演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、集中講義対象科目、海外英語研修科目、経営情報総合C、経営情報総合D、及び卒業研究は含まない。
- ・1年次前期の履修登録科目単位数の上限は、30単位とする。

- ④ 履修登録単位数制限を超えた登録が取り消されないまま「8 履修申告」の(2)履修登録確認期間を過ぎた場合には、原則として全ての履修登録を無効とする。
- ⑤ 英語等の通期履修で2単位の科目は前期1単位、後期1単位の割り当てとする。
- ⑥ GPA計算及び履修登録単位数制限には、教員の免許状に関わる教職に関する科目の単位は含まない。
- ⑦ このほか、特段の事情があると教授会において認められた場合には、CAP制の例外を認める。

## 5 メジャー制（平成31年度以降入学生対象）

本学部は、経営、総合政策、データサイエンス、観光マネジメントの4分野の融合と専門性により、現代社会の各分野でイノベーションを担う問題解決型の人材を育成することをミッション（使命）としているが、メジャー制は、学生が複数の専門分野を学び、融合して活用する力を磨くことができる制度である。学生は、単位修得状況に応じてメジャーが認定される。

## 6 授業科目

授業科目はその性質により、「全学共通科目」、「学部基礎科目」、「専門教育科目」に分類される。

また、「必修科目」は必ず修得しなければならない科目、「選択科目」は所定の単位を必ず修得しなければならない科目である。なお、学部基礎科目はすべて必修科目である。

## 7 授 業

### (1) 学 期

本学での授業は、15週をもって1学期とする。

### (2) 授業時間

授業時間は、原則として1時限90分とし、1日5時限に区切られている。

時 限	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
時 間	9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50

### (3) 授業時間割

授業時間割表は、4月のガイダンスの際及び後期授業開始時に配布される。

時間割は配布後多少変更する場合がありますので、掲示に注意すること。

### (4) 休講、補講、集中講義等

#### ① 休講等

休講、授業時間及び授業場所の変更は、掲示板に掲示されるので、注意すること。

**授業開始時間を過ぎても講義が行われない場合、学生室（内線5009）へ連絡し確かめること。**

#### ② 補講

夏季・冬季休業中に補講のための期間が設けられている。補講が行われる場合には、掲示等により連絡をするので日時・教室などをよく確かめ授業に出席すること。

#### ③ 集中講義、隔週連続講義

夏季・冬季休業中に設けられた期間に集中して行う講義や、通常期間内に隔週で行う講義がある。

詳細については、掲示で連絡する。

## 8 履修申告

### (1) 履修登録の意味

履修しようとする授業科目については、所定の手続きに従って履修登録をしなければならない。

この履修登録を怠ると、たとえ授業に出席し、試験を受け、十分に学修したという実績があったとしても、単位を修得することができない。

### (2) 履修登録期間及び方法

履修登録は、各学期のはじまる4月と10月に、「Web学生サービス支援システム（ユニバーサルパスポート）」（以下システム。）により行う。システムへの登録期間は各学期のはじまりに通知される。（履修登録を取り消さないまま、その後の講義、試験等が未受講の場合には、成績は「不可」となる。）

### (3) 履修申告の注意事項

- ① 同一時間に2科目以上の科目を重複して履修登録することはできない。（重複はいずれの科目も登録されていないものと見なされる）
- ② 既に単位を修得した科目の再履修はできない。
- ③ 施設上または教育上やむを得ないと認められる場合は、履修申告の事前または事後に履修者を制限する場合がある。
- ④ クラスが指定されている場合は、それに従って登録すること。（特に英語科目）
- ⑤ 登録した授業を変更したい場合は、履修登録期間中に行うこと。
- ⑥ 「研究導入演習」は3年前期に、「演習Ⅰ」は3年後期に、「演習Ⅱ」「卒業研究（通年）」は4年前期に登録すること。
- ⑦ **（令和3年度以降入学生のみ）**「研究導入演習」「演習Ⅰ」を履修するためには、履修しようとする年度の前年度の10月1日において、学部基礎科目の中から30単位以上を修得していること。
- ⑧ 「研究導入演習」「演習Ⅰ」を修得していない者は、「演習Ⅱ」「卒業研究」を履修することができない。さらに「卒業研究」を履修できるのは、下記18(2)の「卒業研究履修資格」を満たした者に限るので注意すること。

## 9 メジャー制に関する科目の履修（平成31年度以降入学生対象）

### (1) メジャーの認定について

メジャーの認定については、学生がメジャーを選択する時期は特に設定せず、単位修得状況により、メジャーが認定されることとなる。卒業要件として、少なくとも一つのメジャーの認定を受けることが必要となる。また、複数のメジャーの認定を受けることが可能な為、積極的に複数のメジャーの認定を目指すことを強く推奨する。

### (2) メジャー毎の科目の履修

- ① 自身の目指すメジャーの認定に向けて、それぞれの分野での専門性を十分に養うために、当該メジャーの専門科目＋数理科目＋卒業研究の中から32単位を修得することが必要となる。ただし、各メジャーの具体的な認定要件はそれぞれ異なるため、注意すること。複数のメジャーにまたがる専門教育科目は、それらすべてのメジャーの単位数にカウントされる。「卒業研究」については、研究分野がメジャーと一致する場合に、メジャー認定の単位に加えることとする。ただし、複数のメジャーにまたがる内容の「卒業研究」だとしても、主指導教員が判断した一つのメジャーの認定にのみ加えられる。
- ② 各メジャーの専門科目の中には、メジャーの必修科目が以下のとおり設定されており、それぞれのメジャーの専門的な知識を習得するために必要な科目である為、履修すること。

#### （令和8年度以降入学生）

経営メジャー＝「経営戦略論」「経営組織論」「マーケティングⅠ」「ビジネス実践」「ファイナンス基礎」

総合政策メジャー＝「公共政策論」「社会保障政策論」「法律学概論」

データサイエンスメジャー＝「アルゴリズムとデータ構造Ⅰ」「情報ネットワーク」「人工知能」「データサイエンス実習」

観光マネジメントメジャー＝「観光産業論」「観光政策論」「観光調査法」

#### （令和6年度以降入学生）

経営メジャー＝「経営戦略論」「経営組織論」「マーケティングⅠ」「原価計算論」「ビジネス実践」

総合政策メジャー＝「公共政策論」「社会保障政策論」「法律学概論」

データサイエンスメジャー＝「アルゴリズムとデータ構造Ⅰ」「情報ネットワーク」「人工知能」「データサイエンス実習」

観光マネジメントメジャー＝「観光産業論」「観光政策論」「観光調査法」

#### （令和5年度以前入学生）

経営メジャー＝「経営戦略論」「組織行動論」「マーケティングⅠ」「原価計算論」

総合政策メジャー＝「公共政策論」「社会保障政策論」「公共ガバナンス論」

データサイエンスメジャー＝「アルゴリズムとデータ構造Ⅰ」「データベース」「Webシステム開発演習」

観光マネジメントメジャー＝「観光学概論」「観光産業論」「観光政策論」「観光調査法」

※メジャー制の履修方法については「【参考資料】履修方法について」のページを参照すること。

### 10-1 学習成果の把握（令和6年度以降入学生対象）

学位授与に際して、ディプロマ・ポリシー（「3 教育方針」を参照）を達成する必要がある。このディプロマ・ポリシーを達成するため、各自で学習成果を把握する必要がある。学習成果を把握するため、ルーブリックによる学習成果の達成具合を各自で確認し、ポートフォリオを作成する。なお、詳細は別途定める。

### 10-2 学習成果の把握（令和4年度から令和5年度入学生対象）

学位授与に際して、ディプロマ・ポリシー（「3 教育方針」を参照）を達成する必要がある。このディプロマ・ポリシーを達成するため、各自で学習成果を把握する必要がある。学習成果を把握するため、ルーブリックによる学習成果の達成具合を各自で確認し、ポートフォリオを作成する。なお、4つのルーブリック全てで評価点1以上を習得しなければならない。

#### (1) ルーブリック

##### ① メジャー修得数を評価点とする。

評価点	1	2	3
内容	メジャー修得数1	メジャー修得数2	メジャー修得数3

##### ② 卒業研究への取り組みを評価点とする。

評価点	1	1	1	合計
内容	情報分析能力	論理的思考能力	論文作成能力	評価

##### ③ 該当する科目の単位修得数に応じて評価点を決定する。

評価点	1	2	3
内容	該当科目2科目以上	該当科目7科目以上	該当科目11科目以上

##### 【該当科目一覧】23科目

消費者行動論、広告論、経営統計調査法Ⅰ、行政経営管理論、財政学、政策過程論、経営情報システム概論、公共ガバナンス論、商業論、マーケティングⅠ、観光政策論、観光経済学、地方創生論、観光学概論、会計学総論、保健医療システム論、地域福祉マネジメント論、医療介護マネジメント論、企業論、経営戦略論、応用経済学、社会保障政策論

##### ④ 該当する科目の単位修得数に応じて評価点を決定する。

評価点	1	2	3
内容	該当科目5科目以上	該当科目12科目以上	該当科目19科目以上

##### 【該当科目一覧】39科目

消費者行動論、広告論、経営統計調査法Ⅰ、情報ネットワーク、幾何学応用、情報処理演習、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ、データサイエンス実習、行政経営管理論、財政学、政策過程論、データベース、情報システム開発論、テキストマイニング、公共ガバナンス論、商業論、マーケティングⅠ、現代金融論、財務会計論、経営分析、会計学総論、地域経済学、企業論、経営戦略論、起業家論、多変量解析、マクロ経済学、計量経済学、応用経済学、ミクロ経済学、公共経済学、基礎数学Ⅱ、情報処理概論、情報工学実習、Webシステム開発演習、オブジェクト指向プログラミング、シミュレーション、情報リテラシⅠ、情報リテラシⅡ

#### (2) 学習成果確認手順

- ① 2年前期開始時にポートフォリオを小クラスにて提出し、内容について小クラス担当教員より適切な指導を受ける。
- ② 卒業研究着手時にポートフォリオを指導教員へ提出し、内容について指導教員より適切な指導を受ける。
- ③ 卒業研究発表会前に、卒業予定者全員がポートフォリオを教務委員会へ提出し、評価点を確認し、可否を決定する。  
卒業研究に関連する項目については主指導教員、副指導教員の先生にご意見を頂くこともある。

## 11 教職課程授業科目の履修

### (1) 教職課程履修生

毎年4月上旬に、2年次以上の学生を対象に、面談等を行って教職課程履修生として認定する。  
募集要項・面談日程については、別途告知するので、見落とさぬよう注意すること。

### (2) 1年次授業科目の履修

教職課程授業科目として必要な授業科目が、1年次にも開設されているので、注意して履修すること。(それらの科目は、学部卒業に必要な単位として認定されるので、教職課程に所属できなくとも、無駄とはならない。)

1年次の履修状況(修得単位数及び成績)が、教職課程履修生認定の重要な判断基準となるので、しっかりと履修すること。

## 12 英語科目の履修

### (1) 基礎英語Ⅰ・基礎英語Ⅱ・検定英語Ⅰ・検定英語Ⅱ(平成31年度以前入学生は「基礎英語」「検定英語」)

上記英語科目は、TOEICの受験対策を想定したカリキュラムを組んでいる。大学構内にTOEIC L&R IPテストの受験会場を設けるので、履修者は全員受験すること。詳細は授業時や掲示等により連絡する。これ以外にも、各自TOEIC(公開テスト)を自主的に受験することが望ましい。

※各英語科目の評価については、英語科目評価表のページを参照すること。

### (2) クラス編成

英語科目についてはクラス編成を行うため、指定されたクラスと担当教員を確認したうえで履修すること。

## 13 他学部の授業科目の履修

他学部の授業科目を履修しようとするときは、当該授業科目の担当教員の承認を受けなければならない。所定の書式(学生室で受領するか、システムからダウンロード)により、履修登録期間内に学生室に提出すること。履修した場合は8単位を限度として専門教育科目(他学部開講科目)として単位の認定を行う。なお、履修できる科目は、在学年次と同じか下位の学年を対象としているものに限るので、履修しようとする学部のシラバス等により確認すること。

## 14 静岡大学(人文学部及び教育学部)の科目の履修

本学部と静岡大学人文学部・教育学部との間では、大学間協定に基づき、単位互換制度が実施されており、履修した場合は12単位を限度として専門教育科目(他大学等開講科目)として単位の認定を行う。履修の手続、履修できる科目、単位の認定等の詳細については、別途掲示等で知らせる。

なお、履修するときには、教務委員の承認を受けなければならない。

## 15 交流協定大学で修得した単位の認定

国際交流協定校に留学した場合、帰国後所定の手続きにより交流大学で修得した単位のうち12単位を限度として本学部の科目として読み替えることができるものとする。詳細については学生室に相談すること。

※注意:上記14、15あわせて単位の上限が12単位となる。

## 16 試験

### (1) 試験とは

大学は、学修の効果を測定するために学生の履修した授業科目について、試験の上、単位を与える。

試験は、筆記による場合が多いが、授業担当教員の判断により、レポートあるいは口答試問、実技テストのように他の方法により評価を決定する場合もある。また、出席状況その他平素の成績も評価を判定する資料となる。

### (2) 試験の種類

#### ① 定期試験

定期試験時間割は、試験開始10日前までに掲示により発表される。発表後も変更されることがあるので、注意すること。

#### ② 随時試験

定期試験期間以外に授業中あるいは特別な時間を設けて随時に試験を実施することがある。

この場合、授業や掲示等で伝達されるので、聞き漏らしや見落としのないように注意すること。

### ③ 追試験

次の理由で試験を欠席した者については、追試験を願い出ることができる。

- ア. 病気（ただし、医師の診断書を要する）
- イ. 忌引（1、2親等に限り、死亡の日より1週間以内）
- ウ. 就職に関する事由（ただし、具体的に事情の具申あるもの）
- エ. その他やむを得ない事由（ただし、具体的に事情の具申あるもの）

なお、軽微な風邪等は、正当な理由と認められないので注意すること。

追試験を受けようとする者は、定期試験の当該科目試験終了の日から1週間以内に学生室にて追試験受験願を受け取ってその事由を詳記し、医師の診断書またはその事由を証明する書類を添付し、学生室に提出する。追試験は、原則として試験日以後1か月以内に行う。

### ④ 再試験

定期試験の結果が不可または不合格となった場合に、なお当該科目の単位を修得したいものは再履修するのが原則である。

しかし、やむを得ない事情により授業科目の担当教員の判断により再試験を許されることがある。

### (3) 受験上の注意

試験場内では、すべて監督者の指示またはあらかじめ指示されている事項に従わなければならない。

定期試験の受験方法は次のとおりである。

- ① 本学学生らしく正々堂々と受験し、間違っても不正行為などしてはならない。
- ② もし、不正行為があれば、学則及び履修細則に照らし、処分する。
- ③ 受験時の座席については、特に指示がない場合は、1つ置きに着席すること。
- ④ 試験時は、使用が認められている物だけを机の上に置き、それ以外の持ち物はかばん等に収納すること。  
特に電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末等）はアラームの設定を解除し電源を切ってかばん等に収納すること。電子機器類をかばん等に収納せず、身に着けていたり手に持っているとは不正行為となるので注意すること。なお、机及びポケットの中に収納しておくことも不正行為となる。
- ⑤ 机の上に学生証を置くこと。学生証のない者は受験できないので注意すること。
- ⑥ 学生証を忘れた者は、学生室にて、定期試験仮受験票を発行してもらい、机の上に置くこと。
- ⑦ 原則として試験開始時刻より30分を過ぎた場合は、試験場への入室は認めないので、注意すること。

## 17 学修の評価

### (1) 学修の評価

本学における学修評価は、履修細則及び担当教員の評価方針により、試験、レポート、授業出席状況などにおける学生の学修実績に基づき、秀・優・良・可・不可または合格・不合格の評語で表現される。

### (2) 評価の基準

合格					不合格	
秀	優	良	可	合	不可	不合
100 ~ 90	89 ~ 80	79 ~ 70	69 ~ 60	-	59 ~ 0	-

秀・優・良・可または合格と評定されたものは、当該科目の単位が与えられる。なお、科目の履修を登録し履修しなかった授業科目は不可または不合格と評定される。

### (3) 成績の確認

成績は、Web学生サービス支援システムで確認することができる。

成績に不明な点がある場合は担当教員に申し出ること。

### (4) 再履修

単位を修得できなかった授業科目については、他の学期に再び履修して単位の修得を図ることができる。

### (5) 授業科目の履修とみなし、単位を与える学修

日本商工会議所主催簿記検定（日商簿記）3級以上または全国商業高等学校協会主催簿記検定（全商簿記）2級以上に合格した者には、当該年度の簿記論の単位を登録の上、「簿記論」の単位を与える。評価は「優」とする。希望者は、合格を証明する書類の原本を添え、学生室で配布する申請書により、学生室に届け出ること（原本とそのコピーを持参すること）。当該年度の2月20日（2月20日が土日祝日の場合は直前の平日）17時までに手続きを行わない場合は単位は認められない。

なお、卒業年次生においては、後期の試験期間の終了日までに届け出ること。

## 18 卒業・留年

### (1) 修業年限と在学年限

本学の修業年限は4年と定められている。また、在学期間は8年間を超えることができない。ただし、これらの期間には休学期間は算入されない。休学の手続きについては、学生便覧を参照のこと。

### (2) 卒業研究履修資格

卒業研究を履修するには、3年以上在学し、最低必要単位90単位以上を修得しなければならない。

なお、最低必要単位の構成は以下の通りである。

全学共通科目	学部基礎科目	専門教育科目		合計
		必修	選択	
8単位	38単位	4単位 (研究導入演習、演習Ⅰ)	40単位	90単位

### (3) 卒業要件

卒業するには、4年以上在学し、最低必要単位134単位以上を修得しなければならない。

なお、最低必要単位の構成は以下の通りである。

(令和6年度以降の入学生)

全学共通科目	学部基礎科目	専門教育科目		合計
		必修	選択	
8単位以上 16単位以下 ※必修科目及びしずおか学 2単位を含む	40単位	12単位 (研究導入演習、演習Ⅰ 演習Ⅱ、卒業研究)	66単位以上 74単位以下	134単位

(注) 数理・データサイエンス・AI入門（全学共通科目）を必ず修得すること。

(注) 専門教育科目（選択）と全学共通科目をあわせて82単位を修得すること。

(注) 卒業までに少なくとも一つのメジャー認定を受けること。

(令和5年度以前の入学生)

全学共通科目	学部基礎科目	専門教育科目		合計
8単位以上 16単位以下 ※しずおか学2単位を含む	44単位	必修	選択	134単位
		12単位 (研究導入演習、演習Ⅰ 演習Ⅱ、卒業研究)	62単位以上 70単位以下	

(注) 専門教育科目(選択)と全学共通科目をあわせて78単位を修得すること。

(注) H31以降入学生は卒業までに少なくとも一つのメジャー認定を受けること。

(4) 9月卒業

9月卒業をするには、演習Ⅱ及び卒業研究を、卒業しようとする学期の開始前に修得していなければならない。

19 教職課程 ※令和3年度以前の学生は、入学年度の履修要項を参照すること。

教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法に基づき、本学に設置してある教職課程において所定の単位を修得しなければならない。

(1) 免許状の種類と免許教科

学部・学科	コース	免許状の種類	免許教科
経営情報学部 経営情報学科	(教職課程) 数学コース	高等学校教諭一種免許状	数 学
	(教職課程) 情報コース	高等学校教諭一種免許状	情 報
	(教職課程) 商業コース	高等学校教諭一種免許状	商 業

※ 複数のコースに所属することができる。

(2) 基礎資格と最低単位数

免許状の種類	所要資格			
高等学校教諭 一種免許状	基礎資格	学士の学位を 有すること		
	本学における 最低修得単位数	教科及び教科の指導法に関する科目	2 4	3 6
		大学が独自に設定する科目	1 2	
		教職関連科目	8	
		教育の基礎的理解に関する科目	1 1	
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	1 0	
		教育実践に関する科目	5	

※「大学が独自に設定する科目」は、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」について、併せて12単位以上を修得すること。

## (3) 教科及び教科の指導法に関する科目の授業科目名及び単位数

※ ( ) 内は令和5年度以前の入学生の科目名称

## 数学コース

免許法による教科及び教科の指導法に関する科目	本学授業科目	単位	学部 必修 単位数	教職 必修 単位数
代数学	離散数学	2		2
	経営数学	2		
	情報数学	2		2
	代数学応用	2		2
幾何学	行列とベクトル (基礎数学Ⅱ)	2		2
	幾何学応用	2		2
解析学	微分と積分 (基礎数学Ⅰ)	2		2
	数理工学	2		
	解析学応用	2		2
「確率論、統計学」	基礎統計学Ⅰ	2	2	2
	経営工学	2	2	2
	基礎統計学Ⅱ	2		
	基礎統計学演習	2		
	確率論	2		
	時系列分析	2		
	数理統計学	2		
	多変量解析	2		
	計量経済学	2		
コンピュータ	情報理論	2		2
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	2		2
	機械学習	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	数学科教育法Ⅰ	2		2
	数学科教育法Ⅱ	2		2

情報コース

免許法による教科及び教科の 指導法に関する科目	本学授業科目	単位	学部 必修 単位数	教職 必修 単位数
情報社会（職業に関する内容を 含む。）・情報倫理	情報社会と情報倫理	2		2
	情報と職業	2		2
コンピュータ・情報処理	情報科学概論	2		2
	情報処理概論	2	2	2
	情報処理演習	2	2	2
	オブジェクト指向プログラミング	2		2
	シミュレーション	2		2
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	2		
	人工知能	2		
	情報工学実習	2		2
情報システム	情報システム開発論	2		2
	経営情報システム探究	2		2
	経営情報システム概論	2	2	2
	データベース	2		2
情報通信ネットワーク	情報ネットワーク	2	※	2
	情報セキュリティ	2		2
	Webシステム開発演習	2		
マルチメディア表現・マルチメ ディア技術	メディア処理論	2		2
	情報リテラシⅡ	2	2	2
	画像処理と認識	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	情報科教育法Ⅰ	2		2
	情報科教育法Ⅱ	2		2

※令和5年度以前の入学生は必修（2単位）

商業コース

免許法による教科及び教科の指導法に関する科目	本学授業科目	単 位	学 部 必 修 単 位 数	教 職 必 修 単 位 数
商業の関係科目	基礎経営学	2	2	2
	会計学総論	2	2	2
	簿記論	2	2	2
	商業論	2		2
	マーケティングⅠ	2		2
	マーケティングⅡ	2		
	コーポレート・コミュニケーション	2		
	広告論	2		
	原価計算論	2		2
	経営組織論	2	※	
	組織行動論	2		
	会社会計	2		
	管理会計論	2		
	コーポレート・ファイナンス	2		
	ビジネスロー	2		2
	経営分析	2		
	国際比較経営論	2		2
	プログラミング	2	2	2
	ビジネス実践（ビジネス・コミュニケーション）	2		2
	財務会計論	2		
	税務会計論	2		2
基礎英語Ⅰ	1	1	1	
基礎英語Ⅱ	1	1	1	
職業指導	職業指導論	2		2
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）	商業科教育法Ⅰ	2		2
	商業科教育法Ⅱ	2		2

※令和5年度以前の入学生は必修（2単位）

(4) 大学が独自に設定する科目

最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」について、併せて12単位以上を修得すること。

(5) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（教職関連科目）の授業科目名及び単位数

免許法による教職に関する科目	本学授業科目	単 位	学 部 必 修 単 位 数	教 職 必 修 単 位 数
日 本 国 憲 法	日本国憲法又は日本国憲法A又はB	2		2
体 育	身体運動科学A又はB	2		2
外国語コミュニケーション	英語会話Ⅰ	1	1	1
	英語会話Ⅱ	1	1	1
情報機器の操作	情報リテラシⅠ	2	2	2

(6) 教育の基礎的理解に関する科目等の授業科目名及び単位数

※全ての免許教科必修

免許法による教職に関する科目	本学授業科目	単 位	学 部 必 修 単 位 数	教 職 必 修 単 位 数
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理A	2	-	1 1
	教育原理B	2		
	教師論	2		
	教育社会学	2		
	教育心理学	2		
	特別支援教育	1		
道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、教育相談等 に関する科目	総合学習の指導法	2	-	1 0
	教育課程・特別活動論	2		
	教育方法	1		
	教育における情報通信技術の活用	1		
	生徒指導・進路指導論	2		
	学校カウンセリング	2		
教育実践に関する科目	教育実習Ⅰ	2	-	5
	教育実習Ⅱ	1		
	教職実践演習（高）	2		

20 その他

配布された学生便覧やガイダンス資料等の配布物についても、この履修案内とあわせて熟読しておくこと。

また、学部ホームページのweb掲示板及び学内の掲示板（はばたき棟・経営情報学部棟）などをよく見て、見落としのないよう注意すること。

【参考資料】履修方法について

履修方法

「研究導入演習」「演習Ⅰ」を履修するために必要な最低修得単位数  
(R3以降入学生)

- ・学部基礎科目  
必修科目30単位以上  
※履修しようとする年度の前年度の10月1日時点において。

卒業研究履修資格に必要な最低修得単位数

- ・全学共通科目  
8単位以上
- ・学部基礎科目  
38単位以上
- ・専門教育科目  
必修科目4単位  
(「研究導入演習」「演習Ⅰ」)  
選択科目40単位以上

---

---

合計 90単位

卒業に必要な最低修得単位数

- ・全学共通科目  
8単位以上16単位以下 (必修科目を含む)  
※卒業までにしずおか学から最低2単位修得すること。
- ・学部基礎科目  
必修科目40単位 (令和5年度以前の入学生は44単位)
- ・専門教育科目  
必修科目12単位  
選択科目66単位以上74単位以下 (令和5年度以前の入学生は62単位以上70単位以下)

---

---

合計134単位

※H31以降入学生は卒業までに少なくとも一つのメジャー認定を受けること

## 履修方法

(R8以降入学生)

### 経営メジャー

経営科目	経営戦略論、経営組織論、マーケティング I、ビジネス実践、 ファイナンス基礎	必修 10 単位
	その他経営科目	選択 上限なし
数理科目		選択 上限 8 単位
卒業研究 ※1		選択 6 単位
計		32 単位以上

### 総合政策メジャー

総合政策科目	公共政策論、社会保障政策論、法律学概論	必修 6 単位
	その他総合政策科目	選択 上限なし
数理科目		選択 上限 8 単位
卒業研究 ※1		選択 6 単位
計		32 単位以上

### データサイエンスメジャー

情報科目	アルゴリズムとデータ構造 I、情報ネットワーク、人工知能、 データサイエンス実習	必修 8 単位
	その他情報科目	選択 上限なし
数理科目		選択 上限なし
卒業研究 ※1		選択 6 単位
計		32 単位以上

### 観光マネジメントメジャー

観光科目	観光産業論、観光政策論、観光調査法	必修 6 単位
	その他観光科目	選択 上限なし
観光に関連する他 分野科目	マーケティング I、消費者行動論、コーポレート・コミュニケーション 公共政策論、地方自治論、行政学、情報セキュリティ、データベース Web システム開発演習	選択 上限 6 単位
数理科目		選択 上限 6 単位
卒業研究 ※1		選択 6 単位
計		32 単位以上

※1 「卒業研究」は、どれか一つのメジャー認定にのみ含めることができる。どのメジャーに含めるかは、指導教員の判断による。

## 履修方法

(R6以降入学生)

### 経営メジャー

経営科目	経営戦略論、経営組織論、マーケティングⅠ、原価計算論、ビジネス実践	必修 10 単位
	その他経営科目	選択 上限なし
数理科目		選択 上限 8 単位
卒業研究 ※1		選択 6 単位
計		32 単位以上

### 総合政策メジャー

総合政策科目	公共政策論、社会保障政策論、法律学概論	必修 6 単位
	その他総合政策科目	選択 上限なし
数理科目		選択 上限 8 単位
卒業研究 ※1		選択 6 単位
計		32 単位以上

### データサイエンスメジャー

情報科目	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ、情報ネットワーク、人工知能、データサイエンス実習	必修 8 単位
	その他情報科目	選択 上限なし
数理科目		選択 上限なし
卒業研究 ※1		選択 6 単位
計		32 単位以上

### 観光マネジメントメジャー

観光科目	観光産業論、観光政策論、観光調査法	必修 6 単位
	その他観光科目	選択 上限なし
観光に関連する他分野科目	マーケティングⅠ、消費者行動論、コーポレート・コミュニケーション、公共政策論、地方自治論、行政学、情報セキュリティ、データベース、Web システム開発演習	選択 上限 6 単位
数理科目		選択 上限 6 単位
卒業研究 ※1		選択 6 単位
計		32 単位以上

※1 「卒業研究」は、どれか一つのメジャー認定にのみ含めることができる。どのメジャーに含めるかは、指導教員の判断による。

(H31以降R5以前入学生)

経営メジャー

経営科目	経営戦略論、組織行動論、マーケティングⅠ、原価計算論	必修 8 単位
	その他経営科目	選択 上限なし
数理科目		選択 上限 8 単位
卒業研究 ※4		選択 6 単位
計		32 単位以上

総合政策メジャー

総合政策科目	公共政策論、社会保障政策論、公共ガバナンス論	必修 6 単位
	その他総合政策科目	選択 上限なし
数理科目		選択 上限 8 単位
卒業研究 ※4		選択 6 単位
計		32 単位以上

データサイエンスメジャー

情報科目	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ、データベース、Web システム開発演習	必修 6 単位
	その他情報科目	選択 上限なし
数理科目		選択 上限なし
卒業研究 ※4		選択 6 単位
計		32 単位以上

観光マネジメントメジャー

観光科目	観光学概論、観光産業論、観光政策論、観光調査法	必修 8 単位
	その他観光科目	選択 上限なし
観光に関連する他分野科目	マーケティングⅠ、消費者行動論、コーポレート・コミュニケーション、公共政策論、地域マネジメント論、公共ガバナンス論、情報セキュリティ、データベース、Web システム開発演習 ※3	選択 上限 6 単位 ※1
数理科目		選択 上限 6 単位 ※2
卒業研究 ※4		選択 6 単位
計		32 単位以上

※1 H31～R3年度入学生は上限なし。

※2 H31～R3年度入学生は上限8単位。

※3 H31～R3年度入学生は「社会保障政策論」「シミュレーション」「テキストマイニング」も対象。

※4 「卒業研究」は、どれか一つのメジャー認定にのみ含めることができる。どのメジャーに含めるかは、指導教員の判断による。

## 令和8年度全学共通科目

部門	科目名	単位数	担当教員 (斜体は非常勤講師)
スタ デイ ティ ラ シ ー と ス キ ル と 第1部門	ドイツ語入門	2	ファイファー・マティアス
	フランス語入門	2	佐原 怜
	スペイン語入門	2	<i>杉田和歌子</i>
	中国語入門	2	<i>金笑杰</i>
	日本語作文A	2	<i>逢坂里恵</i>
	日本語作文B	2	<i>逢坂里恵</i>
	中級日本語 I	2	<i>松尾佳代子</i>
	中級日本語 II	2	<i>松尾佳代子</i>
	数理・データサイエンス・AI入門	1	【遠隔授業】【必修科目】※ 武藤伸明 ほか
	ヒューマン・ケア	2	<i>飯島本子</i>
	TOEFL留学英語 I	1	藤森敦之
	TOEFL留学英語 II	1	藤森敦之
	TOEICビジネス基礎英語	1	<i>堀内裕晃</i>
	TOEICビジネス英語 I	1	太田敏郎
TOEICビジネス英語 II	1	藤森敦之	
第2部門 (概論)	自然科学概論	2	橋本博 ほか
	化学入門	2	眞鍋敬 ほか
	生物学入門	2	梅本英司 ほか
	薬剤発達史入門	2	内田信也 ほか
	物理学入門	2	本同宏成 ほか
	環境科学入門	2	谷幸則 ほか
	哲学入門	2	飯野勝己
	社会思想史入門	2	犬塚協太
	歴史学入門	2	栗田和典
	宗教学入門	2	<i>李美奈</i>
	社会学入門	2	石井由香
	国際関係学入門	2	佐藤真千子 ほか
	文化人類学入門	2	<i>金明美</i>
	心理学入門	2	<i>西田公昭</i>
	生涯発達心理入門	2	篁宗一 ほか
	知的財産管理入門	1	<i>居藤湖都</i>

部門	科目名	単位数	担当教員 ( <i>斜体</i> は非常勤講師)	
第3部門 (現代教養)	国際安全保障入門Ⅰ	2	西恭之	
	国際安全保障入門Ⅱ	2	西恭之	
	くらしと化学A	1	近藤啓 ほか	
	くらしと化学B	1	近藤啓 ほか	
	実用科学英語基礎編	2	太田敏郎	
	実用科学英語応用編	2	太田敏郎	
	基礎生命科学Ⅰ	【英語による科目】	2	太田敏郎
	基礎生命科学Ⅱ	【英語による科目】	2	太田敏郎
	現代日本文化入門A	【英語による科目】	1	ファイファー・マティアス
	現代日本文化入門B	【英語による科目】	1	ファイファー・マティアス
	経営分析入門A	【英語による科目】	1	上野、竹下
	経営分析入門B	【英語による科目】	1	上野、竹下
	英語で学ぶ日本語学ⅠA	【英語による科目】	1	<i>吉村紀子</i>
	英語で学ぶ日本語学ⅠB	【英語による科目】	1	藤森敦之
	英語で学ぶ日本語学ⅡA	【英語による科目】	1	藤森敦之
	英語で学ぶ日本語学ⅡB	【英語による科目】	1	藤森敦之
	会計学入門A	【英語による科目】	1	上野雄史 ほか
	会計学入門B	【英語による科目】	1	上野雄史 ほか
	言語の学習・習得ⅠA	【英語による科目】	1	<i>吉村紀子</i>
	言語の学習・習得ⅠB	【英語による科目】	1	<i>吉村紀子</i>
	言語の学習・習得ⅡA	【英語による科目】	1	藤森敦之
	言語の学習・習得ⅡB	【英語による科目】	1	藤森敦之
	静岡の健康長寿を支える取り組みと人々	【しずおか学】	2	富安眞理 ほか
	静岡の防災と医療	【しずおか学】	2	細岡哲也 ほか
	静岡地域食材学A	【しずおか学】	1	江口智美 ほか
	静岡地域食材学B	【しずおか学】	1	江口智美 ほか
	茶学入門	【しずおか学】	2	中村順行
	ムセイオン静岡－MUSEUMと文化	【しずおか学】	2	細川光洋 ほか
	ムセイオン静岡－舞台芸術	【しずおか学】	2	<i>吉川はるな</i>
	静岡の市民活動	【しずおか学】	1	木村綾
	歴史からみるしずおか学	【しずおか学】	2	上野雄史、村橋勲
	新聞でもっと静岡を知ろう	【しずおか学】	2	上原克仁 ほか
	企業経営者に学ぶ静岡のビジネス最前線	【しずおか学】	2	上原克仁 ほか
SDGs概論	【しずおか学】	2	近藤啓 ほか	
ふじのくにに「ガストロミーツリズム」：観る・食べる・学ぶ	【しずおか学】	2	大久保あかね ほか	
静岡ゲームチャリティ実践	【しずおか学】	2	ディハーンジョナサン	
静岡「知」各論－食品環境科学と地域企業の視点から－	【しずおか学】	2	伊藤創平 ほか	
総合科目	世界からしずおかを見る しずおかから世界へ	【しずおか学】	2	横井 香織 ほか
	健康イノベーション教育プログラム	【しずおか学】	2	新井英一 ほか
	キャリアデザイン概論		2	東野 定律
	男女共同参画社会とジェンダー		2	犬塚協太 ほか
	人権が支える社会		2	坪田光平
	ジャーナリズム論		2	西恭之 ほか
動身体学	身体運動科学A	2	窪田辰政 ほか	
	身体運動科学B	2	窪田辰政 ほか	

※しずおか学科目群から2単位以上を卒業までに修得すること。

※【必修科目】は令和6年度以降入学生を対象とし、卒業要件に該当する。

ただし、進級要件については各学部の定めによる。

＜大学コンソーシアム短期集中講義単位互換制度＞  
協定(※)に基づき、大学コンソーシアムを通じて提供される大学の授業科目を履修し、そこで取得した単位を在籍する大学等の単位として認定する制度。  
ふじのくに地域・大学コンソーシアム及び他の大学コンソーシアムを通じて提供された科目で取得した単位は全学共通科目の総合部門として卒業要件単位に算入される。なお、この内ふじのくに地域・大学コンソーシアムを通じて提供される科目は「しずおか学」として扱う。

(※)「一般社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム」短期集中講義単位互換に関する協定書並びに「広域単位互換ネットワークにおける広域単位互換制度に関する包括協定書」

令和8年度以降入学者用 科目一覧表

経営情報学部		専門科目				備 考
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		
				必修	選択	
学部基礎科目	基礎経営学	商 必	1	2		
	会計学総論	商 必	1	2		
	簿記論	商 必	1	2		
	基礎統計学Ⅰ	数 必	1	2		
	経営工学	数 必	1	2		
	基礎経済学		1	2		
	総合政策概論		2	2		
	行財政学概論		1	2		
	情報処理概論	情 必	1	2		
	経営情報システム概論	情 必	2	2		
	観光学概論		1	2		
	情報処理演習	情 必	1	2		
	情報リテラシⅠ	共 選 必	1	2		
	情報リテラシⅡ	情 必	1	2		
	プログラミング	商 必	2	2		
	基礎英語Ⅰ	商 必	1	1		
	基礎英語Ⅱ	商 必	1	1		
	英語会話Ⅰ	共 必	1	1		
	英語会話Ⅱ	共 必	1	1		
	英語講読Ⅰ		2	1		
	英語講読Ⅱ		2	1		
検定英語Ⅰ		2	1			
検定英語Ⅱ		2	1			
スタートアップ演習		1	2			
専門教育科目	経営科目	組織行動論	商 選	2	2	
		企業論		1	2	
		国際比較経営論	商 必	3	2	
		起業家論		3	2	
		ベンチャービジネス論		3	2	
		経営戦略論		2	2	経営メジャー必修
		商業論	商 必	2	2	
		マーケティングⅠ	商 必	1	2	経営メジャー必修
		マーケティングⅡ	商 選	2	2	
		コーポレート・コミュニケーション	商 選	3	2	
		広告論	商 選	2	2	
		財務会計論	商 選	2	2	
		会社会計	商 選	1	2	
		経営分析	商 選	2	2	
		経営組織論	商 選	2	2	経営メジャー必修
		管理会計論	商 選	3	2	
		原価計算論	商 必	1	2	
		監査論		3	2	
		税務会計論	商 必	3	2	
		コーポレート・ファイナンス	商 選	3	2	
		職業指導論	商 必	3	2	
		消費者行動論		2	2	
		経営統計調査法Ⅰ		3	2	
経営統計調査法Ⅱ		3	2			
ビジネス実践	商 必	3	2	経営メジャー必修		
人的資源管理論		2	2			
ファイナンス基礎(旧:現代金融論)		1	2	経営メジャー必修		

経営情報学部 専門科目							
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備考	
				必修	選択		
総合政策科目	公共政策論		2		2	総合政策メジャー必修	
	ミクロ経済学		2		2		
	応用経済学		3		2		
	マクロ経済学		2		2		
	計量経済学	数 選	3		2		
	地域経済学		3		2		
	地域産業論		2		2		
	財政学		2		2		
	行政学		3		2		
	地方自治論		3		2		
	地方財政論		3		2		
	医療介護マネジメント論		3		2		
	保健医療システム論		2		2		
	地方財政論		3		2		
	社会保障政策論		2		2	総合政策メジャー必修	
	公共経済学		3		2		
	地域福祉マネジメント論		3		2		
	医療介護政策論		3		2		
	日本国憲法	共 選 必	3		2		
	民法各論		3		2		
	法学概論		3		2	総合政策メジャー必修	
ビジネスロー	商 必	3		2			
情報科目	情報科学概論	情 必	1		2	データサイエンスメジャー必修	
	情報理論	数 必	2		2		
	アルゴリズムとデータ構造 I	数 必	2		2		
	アルゴリズムとデータ構造 II	情 選	3		2		
	オブジェクト指向プログラミング	情 必	3		2		
	データベース	情 必	2		2		
	画像処理と認識	情 選	2		2		
	メディア処理論	情 必	3		2		
	人工知能	情 選	2		2		データサイエンスメジャー必修
	情報セキュリティ	情 必	2		2		
	Webシステム開発演習	情 選	3		2		
	情報システム開発論	情 必	2		2		
	経営情報システム探究	情 必	3		2		
	情報社会と情報倫理	情 必	3		2		
	情報と職業	情 必	3		2		
	情報工学実習	情 必	3		2		
	テキストマイニング		3		2		
	シミュレーション	情 必	3		2		
	データサイエンス実習		3		2	データサイエンスメジャー必修	
情報ネットワーク	情 必	2		2	データサイエンスメジャー必修		
数理科目	微分と積分	数 必	1		2		
	行列とベクトル	数 必	1		2		
	経営数学	数 選	2		2		
	確率論	数 選	2		2		
	基礎統計学 II	数 選	1		2		
	数理統計学	数 選	3		2		
	多変量解析	数 選	3		2		
	時系列分析	数 選	2		2		
	情報数学	数 必	2		2		
	数理工学	数 選	2		2		
	基礎統計学演習	数 選	2		2		
	離散数学	数 必	1		2		
	代数学応用	数 必	3		2		
	幾何学応用	数 必	3		2		
	解析学応用	数 必	3		2		
機械学習	数 選	3		2			

経営情報学部 専門科目							
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備考	
				必修	選択		
専門 教育 科目	観光科目	観光産業論		2		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光経営人材論		2		2	
		観光マネジメント		2		2	
		国際観光論		2		2	
		観光政策論		2		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光市場論		2		2	
		観光調査法		3		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光情報システム		3		2	
		観光まちづくり論		2		2	
		地方創生論		3		2	
		異文化コミュニケーション		3		2	
		観光人類学		3		2	
	複合科目	経営情報特別講義A		1		2	「会計専門職を目指すための講義」充当
		経営情報特別講義B		3		2	「ビジネスマンに学ぶビジネス入門」充当
		経営情報特別講義C		1		2	「バルマ大学短期研修」充当
		経営情報特別講義D		3		2	清水銀行「地域金融論」充当
		経営情報特別講義E		3		2	「税理士による租税講座」充当
		経営情報特別講義F		2		2	「リスクマネジメント論」充当
		経営情報特別講義G				2	
		経営情報特別講義H				2	
		経営情報特別講義I				2	
		経営情報特別講義J				2	
		経営情報特別講義K				2	
		経営情報特別講義L				2	
		経営情報特別講義M				2	
		経営情報特別講義N				2	
		経営情報総合A				2	
		経営情報総合B				2	
		経営情報総合C				2	
		経営情報総合D				2	
		経営情報総合E				2	
		経営情報総合F				2	
	経営情報イノベーション特別講義A		1		1		
経営情報イノベーション特別講義B		1		1			
英語科目	海外英語研修A		1		2		
	海外英語研修B		1		2		
	海外英語研修C		1		2		
	海外英語研修D		1		1		
自由選択科目	他学部開講科目	共選必			8以内	教職「共選必」は日本国憲法A又はB	
	他大学等開講科目				12以内		
演習	基礎演習Ⅰ		1		1	1年前期	
	基礎演習Ⅱ		1		1	1年後期	
	基礎演習Ⅲ		2		1	2年前期	
	基礎演習Ⅳ		2		1	2年後期	
	研究融合演習Ⅰ		3		1		
	研究融合演習Ⅱ		3		1		
	研究導入演習		3	2		3年前期 必修	
	演習Ⅰ		3	2		3年後期 必修	
卒業研究	演習Ⅱ		4	2		4年前期 必修	
	卒業研究		4	6		4年通年 必修	

## 令和8年度以降入学者用 教職科目一覧表

教育の基礎的理解に関する科目等								
区分	授業科目の名称	配当年次	学部(単位数)		教職(単位数)			
			必修	選択	教科	必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理A	2			共通	2		
	教育原理B	2			共通	2		
	教師論	2			共通	2		
	教育社会学	3			共通	2		
	教育心理学	2			共通	2		
	特別支援教育	3			共通	1		
道徳、総合的な学習の時間等指導法及び生徒指導等に関する科目	総合学習の指導法	3			共通	2		
	教育課程・特別活動論	3			共通	2		
	教育方法	2			共通	1		
	教育における情報通信技術の活用	2			共通	1		
	生徒指導・進路指導論	3			共通	2		
	学校カウンセリング	3			共通	2		
教育実践に関する科目	教育実習Ⅰ	4			共通	2		
	教育実習Ⅱ	4			共通	1		
	教職実践演習(高)	4			共通	2		
教職関連科目	日本国憲法 ※3	3		2	共通	2		
	日本国憲法A又はB ※1	2		2	共通	2		
	身体運動科学A又はB ※2	1		2	共通	2		
	英語会話Ⅰ	1	1		共通	1		
	英語会話Ⅱ	1	1		共通	1		
	情報リテラシⅠ	1	2		共通	2		

※1 日本国憲法、日本国憲法A、日本国憲法Bのうち1つを履修すること。

※2 身体運動科学A、身体運動科学Bのうち1つを履修すること。

各教科の指導法に関する科目								
区分	授業科目の名称	配当年次	学部(単位数)		教職(単位数)			
			必修	選択	教科	必修	選択	
教科及び教科指導に関する科目	数学科教育法Ⅰ	3			数	2		
	数学科教育法Ⅱ	3			数	2		
	情報科教育法Ⅰ	3			情	2		
	情報科教育法Ⅱ	3			情	2		
	商業科教育法Ⅰ	3			商	2		
	商業科教育法Ⅱ	3			商	2		

令和6年度以降入学者用 科目一覧表

経営情報学部		専門科目				備考	
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数			
				必修	選択		
学部基礎科目	基礎経営学	商 必	1	2			
	会計学総論	商 必	1	2			
	簿記論	商 必	1	2			
	基礎統計学 I	数 必	1	2			
	経営工学	数 必	1	2			
	基礎経済学		1	2			
	総合政策概論		2	2			
	行財政学概論		1	2			
	情報処理概論	情 必	1	2			
	経営情報システム概論	情 必	2	2			
	情報処理演習	情 必	1	2			
	情報リテラシ I	共 選 必	1	2			
	情報リテラシ II	情 必	1	2			
	プログラミング	商 必	2	2			
	観光学概論		1	2			
	基礎英語 I	商 必	1	1			
	基礎英語 II	商 必	1	1			
	英語会話 I	共 必	1	1			
	英語会話 II	共 必	1	1			
	英語講読 I		2	1			
	英語講読 II		2	1			
	検定英語 I		2	1			
	検定英語 II		2	1			
	スタートアップ演習		1	2			
	専 門 教 育 科 目	経営科目	組織行動論	商 選	2	2	
			企業論		1	2	
国際経営論				1	2		
多国籍企業論				3	2		
国際比較経営論			商 必	3	2		
起業家論				3	2		
ベンチャービジネス論				3	2		
経営戦略論				2	2	経営メジャー必修	
商業論			商 必	2	2		
マーケティング I			商 必	1	2	経営メジャー必修	
マーケティング II			商 選	2	2		
コーポレート・コミュニケーション			商 選	3	2		
広告論			商 選	2	2		
財務会計論			商 選	2	2		
会社会計			商 選	1	2		
経営分析			商 選	2	2		
経営組織論			商 選	2	2	経営メジャー必修	
管理会計論			商 選	3	2		
原価計算論			商 必	1	2	経営メジャー必修	
監査論				3	2		
税務会計論			商 必	3	2		
経営財務論			商 選	3	2		
職業指導論			商 必	3	2		
消費者行動論				2	2		
経営統計調査法 I				3	2		
経営統計調査法 II				3	2		
ビジネス実践	商 必	3	2	経営メジャー必修			
人的資源管理論		2	2				
国際人的資源管理論		2	2				

経営情報学部 専門科目									
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備考			
				必修	選択				
総合政策科目	公共政策論		2		2	総合政策メジャー必修			
	ミクロ経済学		2		2				
	応用経済学		3		2				
	マクロ経済学		2		2				
	計量経済学	数 選	3		2				
	地域経済学		3		2				
	地域産業論		2		2				
	財政学		2		2				
	現代金融論		3		2				
	行政学		3		2				
	地方自治論		3		2				
	医療介護マネジメント論		3		2				
	保健医療システム論		2		2				
	地方財政論		3		2				
	社会保障政策論		2		2		総合政策メジャー必修		
	公共経済学		3		2				
	地域福祉マネジメント論		3		2				
	医療介護政策論		3		2				
	日本国憲法	共 選 必	3		2				
	民法各論		3		2				
	法学概論		3		2			総合政策メジャー必修	
ビジネスロー	商 必	3		2					
情報科目	情報科学概論	情 必	1		2	データサイエンスメジャー必修			
	情報理論	数 必	2		2				
	アルゴリズムとデータ構造 I	数 必	2		2				
	オブジェクト指向プログラミング	情 必	3		2				
	アルゴリズムとデータ構造 II	情 選	3		2				
	データベース	情 必	2		2				
	画像処理と認識	情 選	2		2				
	メディア処理論	情 必	3		2				
	人工知能	情 選	2		2				データサイエンスメジャー必修
	情報セキュリティ	情 必	2		2				
	Webシステム開発演習	情 選	3		2				
	情報システム開発論	情 必	2		2				
	経営情報システム探究	情 必	3		2				
	情報社会と情報倫理	情 必	3		2				
	情報と職業	情 必	3		2				
	情報工学実習	情 必	3		2				
	テキストマイニング		3		2				
	シミュレーション	情 必	3		2				
	データサイエンス実習		3		2		データサイエンスメジャー必修		
	情報ネットワーク	情 必	2		2				
数理科目	微分と積分	数 必	1		2	データサイエンスメジャー必修			
	行列とベクトル	数 必	1		2				
	経営数学	数 選	2		2				
	確率論	数 選	2		2				
	基礎統計学 II	数 選	1		2				
	数理統計学	数 選	3		2				
	多変量解析	数 選	3		2				
	時系列分析	数 選	2		2				
	情報数学	数 必	2		2				
	数理工学	数 選	2		2				
	基礎統計学演習	数 選	2		2				
	離散数学	数 必	1		2				
	代数学応用	数 必	3		2				
	幾何学応用	数 必	3		2				
	解析学応用	数 必	3		2				
機械学習	数 選	3		2					

経営情報学部 専門科目						
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専門教育科目	観光科目	観光産業論		2	2	観光マネジメントメジャー必修
		観光経営人材論		2	2	
		観光マネジメント		2	2	
		国際観光論		2	2	
		観光政策論		2	2	観光マネジメントメジャー必修
		観光経済学		2	2	
		観光調査法		3	2	観光マネジメントメジャー必修
		観光情報システム		3	2	
		観光まちづくり論		2	2	
		地方創生論		3	2	
		異文化コミュニケーション		3	2	
		観光人類学		3	2	
	複合科目	経営情報特別講義A		1	2	「会計専門職を目指すための講義」充当
		経営情報特別講義B		3	2	「ビジネスマンに学ぶビジネス入門」充当
		経営情報特別講義C		1	2	「バルマ大学短期留学」充当
		経営情報特別講義D		3	2	清水銀行「地域金融論」充当
		経営情報特別講義E		3	2	「税理士による租税講座」充当
		経営情報特別講義F		2	2	「リスクマネジメント論」充当
		経営情報特別講義G			2	
		経営情報特別講義H			2	
		経営情報特別講義I			2	
		経営情報特別講義J			2	
		経営情報特別講義K			2	
		経営情報特別講義L			2	
		経営情報特別講義M			2	
		経営情報特別講義N			2	
		経営情報総合A			2	
		経営情報総合B			2	
		経営情報総合C			2	
		経営情報総合D			2	
経営情報総合E				2		
経営情報総合F				2		
経営情報イノベーション特別講義A		1	1			
経営情報イノベーション特別講義B		1	1			
英語科目	海外英語研修A		1	2		
	海外英語研修B		1	2		
	海外英語研修C		1	2		
	海外英語研修D		1	1		
自由選択科目	他学部開講科目	共選必		8以内	教職「共選必」は日本国憲法A又はB	
	他大学等開講科目			12以内		
演習	基礎演習Ⅰ		1	1	1年前期	
	基礎演習Ⅱ		1	1	1年後期	
	基礎演習Ⅲ		2	1	2年前期	
	基礎演習Ⅳ		2	1	2年後期	
	研究融合演習Ⅰ		3	1		
	研究融合演習Ⅱ		3	1		
	研究導入演習		3	2	3年前期 必修	
	演習Ⅰ		3	2	3年後期 必修	
	演習Ⅱ		4	2	4年前期 必修	
卒業研究	卒業研究		4	6	4年通年 必修	

令和6年度以降入学者用 教職科目一覧表

教育の基礎的理解に関する科目等							
区分	授業科目の名称	配当年次	学部(単位数)		教職(単位数)		
			必修	選択	教科	必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理A	2			共通	2	
	教育原理B	2			共通	2	
	教師論	2			共通	2	
	教育社会学	3			共通	2	
	教育心理学	2			共通	2	
	特別支援教育	3			共通	1	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合学習の指導法	3			共通	2	
	教育課程・特別活動論	3			共通	2	
	教育方法	2			共通	1	
	教育における情報通信技術の活用	2			共通	1	
	生徒指導・進路指導論	3			共通	2	
	学校カウンセリング	3			共通	2	
教育実践に関する科目	教育実習Ⅰ	4			共通	2	
	教育実習Ⅱ	4			共通	1	
	教職実践演習(高)	4			共通	2	
教職関連科目	日本国憲法 ※3	2		2	共通	2	
	日本国憲法A又はB ※1	2		2	共通	2	
	身体運動科学A又はB ※2	1		2	共通	2	
	英語会話Ⅰ	1	1		共通	1	
	英語会話Ⅱ	1	1		共通	1	
	情報リテラシⅠ	1	2		共通	2	

※1 日本国憲法、日本国憲法A、日本国憲法Bのうち1つを履修すること。

※2 身体運動科学A、身体運動科学Bのうち1つを履修すること。

各教科の指導法に関する科目							
区分	授業科目の名称	配当年次	学部(単位数)		教職(単位数)		
			必修	選択	教科	必修	選択
教科及び教科の指導に関する科目	数学科教育法Ⅰ	3			数	2	
	数学科教育法Ⅱ	3			数	2	
	情報科教育法Ⅰ	3			情	2	
	情報科教育法Ⅱ	3			情	2	
	商業科教育法Ⅰ	3			商	2	
	商業科教育法Ⅱ	3			商	2	

## 令和2年度以降入学者用 科目一覧表

※網掛けはR8年度非開講の科目です。

経営情報学部 専門科目							
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備 考	
				必修	選択		
学部基礎科目	基礎経営学	商 必	1	2			
	経営組織論	商 選	2	2			
	会計学総論	商 必	1	2			
	簿記論	商 必	1	2			
	経営情報システム概論	情 必	2	2			
	基礎統計学Ⅰ	数 必	1	2			
	経営工学	数 必	1	2			
	法律学概論			1	2		
	基礎経済学			1	2		
	総合政策概論Ⅰ			1	2		
	総合政策概論Ⅱ			2	2		
	情報処理概論	情 必	1	2			
	情報処理演習	情 必	1	2			
	情報リテラシⅠ	共 選 必	1	2			
	情報リテラシⅡ	情 必	1	2			
	プログラミング	商 必	2	2			
	情報ネットワーク	情 必	2	2			
	基礎英語Ⅰ	商 必	1	1			
	基礎英語Ⅱ	商 必	1	1			
	英語会話Ⅰ	共 必	1	1			
	英語会話Ⅱ	共 必	1	1			
	英語講読Ⅰ			2	1		
	英語講読Ⅱ			2	1		
	検定英語Ⅰ			2	1		
	検定英語Ⅱ			2	1		
	スタートアップ演習			1	2		
専 門 教 育 科 目	経営科目	組織行動論	商 選	2	2	経営メジャー必修	
		企業論		1	2		
		国際比較経営論	商 必	3	2		
		国際経営論		1	2		
		多国籍企業論		3	2		
		起業家論		3	2		
		ベンチャービジネス論		3	2		
		経営戦略論		2	2	経営メジャー必修	
		経営史		1	2		
		商業論	商 必	2	2		
		マーケティングⅠ	商 必	1	2	経営メジャー必修	
		マーケティングⅡ	商 選	2	2		
		コーポレート・コミュニケーション	商 選	3	2		
		広告論	商 選	2	2		
		技術経営論		3	2		
		財務会計論	商 選	2	2		
		会社会計	商 選	1	2		
		経営分析	商 選	2	2		
		管理会計論	商 選	3	2		
		原価計算論	商 必	1	2	経営メジャー必修	
		監査論		3	2		
		税務会計論	商 必	3	2		
		経営財務論	商 選	3	2		
		職業指導論	商 必	3	2		
		消費者行動論		2	2		
		経営統計調査法Ⅰ		3	2		
経営統計調査法Ⅱ		3	2				
人的資源管理論		2	2				
国際人的資源管理論		2	2				
ビジネスロー	商 必	3	2				
ビジネス・コミュニケーション	商 必	3	2	R4以前は2年次配当			

経営情報学部 専門科目							
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備考	
				必修	選択		
専 門 教 育 科 目	総合政策科目	公共政策論		2		2	総合政策メジャー必修
		ミクロ経済学		2		2	
		応用経済学		3		2	
		マクロ経済学		2		2	
		計量経済学	数 選	3		2	
		地域経済学		3		2	
		地域産業論		2		2	
		財政学		2		2	
		現代金融論		3		2	
		行政経営管理論		3		2	
		公共ガバナンス論		3		2	総合政策メジャー必修
		地域マネジメント論		3		2	
		医療介護マネジメント論		3		2	
		保健医療システム論		2		2	～2020入学生は「公共健康政策論」
		政策過程論		3		2	
		社会保障政策論		2		2	総合政策メジャー必修
		公共経済学		3		2	
		地域福祉マネジメント論		3		2	
		日本国憲法	共 選 必	2		2	
		民法各論		2		2	
	医療介護政策論 ※2021以降入学生のみ		3		2		
	情報科目	アルゴリズムとデータ構造 I	数 必	2		2	データサイエンスメジャー必修
		オブジェクト指向プログラミング	情 必	3		2	
		アルゴリズムとデータ構造 II	情 選	3		2	
		データベース	情 必	2		2	データサイエンスメジャー必修
		経営情報システム探究	情 必	3		2	
		情報科学概論	情 必	1		2	
		情報理論	数 必	2		2	
		画像処理と認識	情 選	2		2	
Webシステム開発演習		情 選	3		2	データサイエンスメジャー必修	
情報システム開発論		情 必	2		2		
人工知能		情 選	2		2		
情報社会と情報倫理		情 必	3		2		
情報工学実習		情 必	3		2		
メディア処理論		情 必	3		2		
情報と職業		情 必	3		2		
情報セキュリティ		情 必	2		2		
シミュレーション		情 必	3		2		
テキストマイニング			3		2		
データサイエンス実習			3		2		

経営情報学部 専門科目							
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備考	
				必修	選択		
専門教育科目	数理科目	基礎数学Ⅰ	数 必	1		2	
		基礎数学Ⅱ	数 必	1		2	
		経営数学	数 選	2		2	
		確率論	数 選	2		2	
		基礎統計学Ⅱ	数 選	1		2	
		数理統計学	数 選	3		2	
		多変量解析	数 選	3		2	
		時系列分析	数 選	2		2	
		情報数学	数 必	2		2	
		数理工学	数 選	2		2	
		基礎統計学演習	数 選	2		2	
		離散数学	数 必	1		2	
		代数学応用	数 必	3		2	
		幾何学応用	数 必	3		2	
		解析学応用	数 必	3		2	
		機械学習	数 選	3		2	
	観光科目	観光学概論		1		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光産業論		2		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光経営人材論		2		2	
		観光マネジメント		2		2	
		国際観光論		2		2	
		観光政策論		2		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光経済学		2		2	
		観光調査法		2		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光情報システム		3		2	
		観光まちづくり論		2		2	
		地方創生論		3		2	
		異文化コミュニケーション		3		2	
		観光人類学		3		2	
	複合科目	経営情報特別講義A		1		2	「会計専門職を目指すための講義」充当
		経営情報特別講義B		3		2	「ビジネスマンに学ぶビジネス入門」充当
		経営情報特別講義C		1		2	「パルマ大学短期留学」充当
		経営情報特別講義D		3		2	清水銀行「地域金融論」充当
		経営情報特別講義E		3		2	「税理士による租税講座」充当
		経営情報特別講義F		2		2	「リスクマネジメント論」充当
経営情報特別講義G					2		
経営情報特別講義H					2		
経営情報特別講義I					2		
経営情報特別講義J					2		
経営情報特別講義K					2		
経営情報特別講義L					2		
経営情報特別講義M					2		
経営情報特別講義N					2		
経営情報総合A			3		2		
経営情報総合B			3		2		
経営情報総合C			1		2	ITパスポート試験合格をもって単位を与える ※2021年度入学生まで	
経営情報総合D			1		2	基本情報技術者試験合格をもって単位を与える ※2021年度入学生まで	
経営情報総合E				2			
経営情報総合F				2			

経営情報学部 専門科目

科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備考		
				必修	選択			
専門 教育 科目	英語科目	アドバンスト・イングリッシュA		3		1	教職「共通必」は日本国憲法A又はB	
		アドバンスト・イングリッシュB		3		1		
		アドバンスト・ビジネス・イングリッシュA		3		1		
		アドバンスト・ビジネス・イングリッシュB		3		1		
		海外英語研修A		1		2		
		海外英語研修B		1		2		
		海外英語研修C		1		2		
		海外英語研修D		1		1		
	自由選択科目	他学部開講科目	共通必			8以内		
		他大学等開講科目				12以内		
	演習	基礎演習1		1		2		1年前期
		基礎演習2		1		2		1年後期
		基礎演習3		2		2		2年前期
		基礎演習4		2		2		2年後期
		研究融合演習1		3		2		
		研究融合演習2		3		2		
		研究導入演習		3	2			3年前期 必修
		演習Ⅰ		3	2			3年後期 必修
	演習Ⅱ		4	2		4年前期 必修		
	卒業研究	卒業研究		4	6			4年通年 必修

令和2年度以降入学者用 教職科目一覧表

教育の基礎的理解に関する科目等							
区分	授業科目の名称	配当年次	学部(単位数)		教職(単位数)		
			必修	選択	教科	必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理A	2			共通	2	
	教育原理B	2			共通	2	
	教師論	2			共通	2	
	教育社会学	3			共通	2	
	教育心理学	2			共通	2	
	特別支援教育	3			共通	1	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合学習の指導法	3			共通	2	
	教育課程・特別活動論	3			共通	2	
	教育方法	2			共通	2or1 ※1	
	教育における情報通信技術の活用 ※2	2			共通	1	
	生徒指導・進路指導論	3			共通	2	
	学校カウンセリング	3			共通	2	
教育実践に関する科目	教育実習Ⅰ	4			共通	2	
	教育実習Ⅱ	4			共通	1	
	教職実践演習(高)	4			共通	2	
教職関連科目	日本国憲法 ※3	2		2	共通	2	
	日本国憲法A又はB ※3	2		2	共通	2	
	身体運動科学A又はB ※4	1		2	共通	2	
	英語会話Ⅰ	1	1		共通	1	
	英語会話Ⅱ	1	1		共通	1	
	情報リテラシⅠ	1	2		共通	2	

※1 令和3年度までの学生は2単位、令和4年度以降の学生は1単位。

※2 「教育における情報通信技術の活用」は、令和4年度以降入学生のみ対象。

※3 日本国憲法、日本国憲法A、日本国憲法Bのうち1つを履修すること。

※4 身体運動科学A、身体運動科学Bのうち1つを履修すること。

各教科の指導法に関する科目							
区分	授業科目の名称	配当年次	学部(単位数)		教職(単位数)		
			必修	選択	教科	必修	選択
教科及び教科の指導に関する科目	数学科教育法Ⅰ	3			数	2	
	数学科教育法Ⅱ	3			数	2	
	情報科教育法Ⅰ	3			情	2	
	情報科教育法Ⅱ	3			情	2	
	商業科教育法Ⅰ	3			商	2	
	商業科教育法Ⅱ	3			商	2	

平成31年度入学者用 科目一覧表

※網掛けはR8年度非開講の科目です。

経営情報学部 専門科目						
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
学部基礎科目	基礎経営学	商 必	1	2		
	経営組織論	商 選	2	2		
	会計学総論	商 必	1	2		
	簿記論	商 必	1	2		
	経営情報システム概論	情 必	2	2		
	基礎統計学Ⅰ	数 必	1	2		
	経営工学	数 必	1	2		
	法律学概論		1	2		
	基礎経済学		1	2		
	総合政策概論Ⅰ		1	2		
	総合政策概論Ⅱ		2	2		
	情報処理概論	情 必	1	2		
	情報処理演習	情 必	1	2		
	情報リテラシⅠ	共 選 必	1	2		
	情報リテラシⅡ	情 必	1	2		
	プログラミング	商 必	2	2		
	情報ネットワーク	情 必	2	2		
	基礎英語	商 必	1	2		
	英語会話	共 必	1	2		
	英語講読		2	2		
	検定英語		2	2		
	スタートアップ演習		1	2		
専門教育科目	経営科目	組織行動論	商 選	2	2	経営メジャー必修
		企業論		1	2	
		国際比較経営論	商 必	3	2	
		国際経営論		1	2	
		多国籍企業論		3	2	
		起業家論		3	2	
		ベンチャービジネス論		3	2	
		経営戦略論		2	2	経営メジャー必修
		経営史		1	2	
		商業論	商 必	2	2	
		マーケティングⅠ	商 必	1	2	経営メジャー必修
		マーケティングⅡ	商 選	2	2	
		コーポレート・コミュニケーション	商 選	3	2	
		広告論	商 選	2	2	
		技術経営論		3	2	
		財務会計論	商 選	2	2	
		会社会計	商 選	1	2	
		経営分析	商 選	2	2	
		管理会計論	商 選	3	2	
		原価計算論	商 必	1	2	経営メジャー必修
		監査論		3	2	
		税務会計論	商 必	3	2	
		経営財務論	商 選	3	2	
		職業指導論	商 必	3	2	
		消費者行動論		2	2	
		経営統計調査法Ⅰ		3	2	
		経営統計調査法Ⅱ		3	2	
		人的資源管理論		2	2	
国際人的資源管理論		2	2			
ビジネスロー	商 必	3	2			
ビジネス・コミュニケーション	商 必	2	2			

		経営情報学部		専門科目				
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備考		
				必修	選択			
専 門 教 育 科 目	総合政策科目	公共政策論		2		2	総合政策メジャー必修	
		ミクロ経済学		2		2		
		応用経済学		3		2		
		マクロ経済学		2		2		
		計量経済学	数 選	3		2		
		地域経済学		3		2		
		地域産業論		2		2		
		財政学		2		2		
		現代金融論		3		2		
		行政経営管理論		3		2		
		公共ガバナンス論		3		2	総合政策メジャー必修	
		地域マネジメント論		3		2		
		医療介護マネジメント論		3		2		
		公共健康政策論		2		2		
		政策過程論		3		2		
		社会保障政策論		2		2	総合政策メジャー必修	
		公共経済学		3		2		
		地域福祉マネジメント論		3		2		
		日本国憲法	共 選 必	2		2		
	民法各論		2		2			
情報科目	アルゴリズムとデータ構造 I	数 必	2		2	データサイエンスメジャー必修		
	オブジェクト指向プログラミング	情 必	3		2			
	アルゴリズムとデータ構造 II	情 選	3		2			
	データベース	情 必	2		2	データサイエンスメジャー必修		
	経営情報システム探究	情 必	3		2			
	情報科学概論	情 必	1		2			
	情報理論	数 必	2		2			
	画像処理と認識	情 選	2		2			
	Webシステム開発演習	情 選	3		2	データサイエンスメジャー必修		
	情報システム開発論	情 必	2		2			
	人工知能	情 選	2		2			
	情報社会と情報倫理	情 必	3		2			
	情報工学実習	情 必	3		2			
	メディア処理論	情 必	3		2			
	情報と職業	情 必	3		2			
	情報セキュリティ	情 必	2		2			
	シミュレーション	情 必	3		2			
	テキストマイニング		3		2			
	データサイエンス実習		3		2			

経営情報学部 専門科目								
科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備考		
				必修	選択			
専門教育科目	数理科目	基礎数学Ⅰ	数 必	1		2		
		基礎数学Ⅱ	数 必	1		2		
		経営数学	数 選	2		2		
		確率論	数 選	2		2		
		基礎統計学Ⅱ	数 選	1		2		
		数理統計学	数 選	3		2		
		多変量解析	数 選	3		2		
		時系列分析	数 選	2		2		
		情報数学	数 必	2		2		
		数理工学	数 選	2		2		
		基礎統計学演習	数 選	2		2		
		離散数学	数 必	1		2		
		代数学応用	数 必	3		2		
		幾何学応用	数 必	3		2		
		解析学応用	数 必	3		2		
		機械学習	数 選	3		2		
	観光科目	観光学概論			1		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光産業論			2		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光経営人材論			2		2	
		観光マネジメント			2		2	
		国際観光論			2		2	
		観光政策論			2		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光経済学			2		2	
		観光調査法			2		2	観光マネジメントメジャー必修
		観光情報システム			3		2	
		観光まちづくり論			2		2	
		地方創生論			3		2	
		異文化コミュニケーション			3		2	
	観光人類学			3		2		
	複合科目	経営情報特別講義A			1		2	「会計専門職を目指すための講義」充当
		経営情報特別講義B			3		2	「ビジネスマンに学ぶビジネス入門」充当
		経営情報特別講義C			1		2	「パルマ大学短期留学」充当
		経営情報特別講義D			3		2	清水銀行「地域金融論」充当
		経営情報特別講義E			3		2	「税理士による租税講座」充当
		経営情報特別講義F			2		2	「リスクマネジメント論」充当
経営情報特別講義G						2		
経営情報特別講義H						2		
経営情報特別講義I						2		
経営情報特別講義J						2		
経営情報特別講義K						2		
経営情報特別講義L						2		
経営情報特別講義M						2		
経営情報特別講義N						2		
経営情報総合A				3		2		
経営情報総合B				3		2		
経営情報総合C				1		2	ITパスポート試験合格をもって単位を与える	
経営情報総合D			1		2	基本情報技術者試験合格をもって単位を与える		
経営情報総合E					2			
経営情報総合F					2			

経営情報学部 専門科目

科目分類	授業科目の名称	教職	配当年次	単位数		備 考			
				必修	選択				
専 門 教 育 科 目	英語科目	アドバンスト・イングリッシュA		3		1	教職「共通必」は日本国憲法A又はB		
		アドバンスト・イングリッシュB		3		1			
		アドバンスト・ビジネス・イングリッシュA		3		1			
		アドバンスト・ビジネス・イングリッシュB		3		1			
		海外英語研修A		1		2			
		海外英語研修B		1		2			
		海外英語研修C		1		2			
		海外英語研修D		1		1			
	自由選択科目	他学部開講科目	共通必					8以内	
		他大学等開講科目						12以内	
	演習	基礎演習1		1				2	1年前期
		基礎演習2		1				2	1年後期
		基礎演習3		2				2	2年前期
		基礎演習4		2				2	2年後期
		研究融合演習1		3				2	
		研究融合演習2		3				2	
		研究導入演習		3	2				3年前期 必修
		演習Ⅰ		3	2				3年後期 必修
	演習Ⅱ		4	2				4年前期 必修	
	卒業研究	卒業研究		4	6				4年通年 必修

## 平成 31年度入学者用 教職科目一覧表

※網掛けはR8年度非開講の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等							
区分	授業科目の名称	配当年次	学部(単位数)		教職(単位数)		
			必修	選択	教科	必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理A	2			共通	2	
	教育原理B	2			共通	2	
	教師論	2			共通	2	
	教育社会学	3			共通	2	
	教育心理学	2			共通	2	
	特別支援教育	3			共通	1	
道徳、総合的な学習の時間等及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合学習の指導法	3			共通	2	
	教育課程・特別活動論	3			共通	2	
	教育方法	2			共通	2	
	生徒指導・進路指導論	3			共通	2	
	学校カウンセリング	3			共通	2	
教育実践に関する科目	教育実習Ⅰ	4			共通	2	
	教育実習Ⅱ	4			共通	1	
	教職実践演習(高)	4			共通	2	
教職関連科目	日本国憲法 *1	2		2	共通	2	
	日本国憲法A又はB *1	2		2	共通	2	
	身体運動科学A又はB	1		2	共通	2	
	英語会話	1	2		共通	2	
	情報リテラシⅠ	1	2		共通	2	

\*1 日本国憲法、日本国憲法A、Bのうち1つを履修すること。

各教科の指導法に関する科目							
区分	授業科目の名称	配当年次	学部(単位数)		教職(単位数)		
			必修	選択	教科	必修	選択
教科及び教科の指導に関する科目	数学科教育法Ⅰ	3			数	2	
	数学科教育法Ⅱ	3			数	2	
	情報科教育法Ⅰ	3			情	2	
	情報科教育法Ⅱ	3			情	2	
	商業科教育法Ⅰ	3			商	2	
	商業科教育法Ⅱ	3			商	2	

# 令和8年度全学共通科目時間割表

2026.3.6

◀ 前期 ▶ \*第1部門:リテラシーとスタディ・スキル 第2部門:概論 第3部門:現代教養

時限	月					火					水					木					金						
	開講期	部門	科目名等	教員	教室	開講期	部門	科目名等	教員	教室	開講期	部門	科目名等	教員	教室	開講期	部門	科目名等	教員	教室	開講期	部門	科目名等	教員	教室		
1	後	1	中国語入門	金 笑傑	3315	前	1	ドイツ語入門	ファイファー 谷幸則ほか	2216	前	1	日本語作文A	逢坂里恵	3313	前	1	ヒューマン・ケア	飯島本子	3315	前	1	TOEFL留学英語Ⅰ	藤森敦之	2310		
	前	2	環境科学入門			前	2	環境科学入門	西恭之	2108	前	1	スペイン語入門	杉田和歌子	3317	前	2	物理学入門	本向宏成	2107	前	2	知的財産管理入門	唐藤湖都	2107		
	前	3	国際安全保障入門Ⅰ			前	3	基礎生命科学Ⅰ	太田敏郎	5217	前	2	化学入門	眞鍋敬ほか	2106	前	2	生物学入門	梅本英司ほか	13411	後	2	宗教学入門	李 美奈	2309		
	前	3(英語)	基礎生命科学Ⅰ	太田敏郎	5217	前	3(しずおか学)	歴史からみるしずおか学	上野雄史・村橋 細岡哲也ほか	大講堂	前	2	国際関係学入門	犬塚協太	2108	前	2	社会思想入門	佐藤典子ほか	2215	前	3	実用科学英語応用編	太田敏郎	5314		
	前	3(しずおか学)	静岡「知」各論-食品環境科学と地域企業の視点から-	伊藤創平ほか	2215	前	3(しずおか学)	静岡の防災と医療	細岡哲也ほか	大講堂	前	3	会計学入門A	上野雄史ほか	2312	前	3(しずおか学)	静岡の健康長寿を支える取り組みと人々	富安真理ほか	大講堂	前	3(しずおか学)	SDGs概論	近藤啓ほか	2103		
前	総合科目	人権が支える社会	坪田光平	2109	前	総合科目	人権が支える社会	坪田光平	2109	前	前	3(しずおか学)	新開でもっと静岡を知ろう	上原克仁	4109	前	前	3(しずおか学)	静岡ゲームチャリティー実践	ディハーン	3108	前	前	3(しずおか学)	ふじのくに「カストロ・リゾーム」: 観る、食べる学ぶ	大久保あかねほか	4213
2	通年	身体運動	身体運動科学A【国際】	鈴木健司	2107	前	1	中級日本語Ⅱ	松尾佳代子	3313	通年	身体運動	身体運動科学A【国際】	富田裕一郎	4105	通年	身体運動	身体運動科学B【国際・経情】	星野義文	2109							
3	通年	身体運動	身体運動科学B【食品】	牧田浩幸	2107	通年	身体運動	身体運動科学A【国際】	富田裕一郎	4105	前	1	TOEICビジネス基礎英語	堀内裕晃	2109	前	1	TOEICビジネス英語Ⅰ	太田敏郎	5314							
4	通年	身体運動	身体運動科学A【食品・経情】	鈴木健司 二見隆亮	4109 2217	前	3(しずおか学)	ムセイオン静岡 - 舞台芸術	古川はるな	13411	通年	身体運動	身体運動科学A【経情】	富田裕一郎	4105												
5	前	1	数理-データサイエンス-A入門	高橋 伸明ほか	遠隔	前	総合科目	キャリアデザイン概論	東野定律 ほか	4111	前	総合科目	男女共同参画社会とジェンダー	犬塚協太ほか	2109												
6	前	1	数理-データサイエンス-A入門	高橋 伸明ほか	遠隔																						

◀ 後期 ▶ \*第1部門:リテラシーとスタディ・スキル 第2部門:概論 第3部門:現代教養

時限	月					火					水					木					金					
	開講期	部門	科目名等	教員	教室	開講期	部門	科目名等	教員	教室	開講期	部門	科目名等	教員	教室	開講期	部門	科目名等	教員	教室	開講期	部門	科目名等	教員	教室	
1			(開講なし)			前	1	フランス語入門	佐原 伶	2216	後	1	日本語作文B	逢坂里恵	3313	後	1	TOEFL留学英語Ⅱ	藤森敦之	2310	後	2	葉剤発達史入門	内田信也ほか	2106	
	後	2	社会学入門	石井由香	3315	後	2	哲学入門	飯野勝己	2107	後	2	自然科学概論	橋本博ほか	2106	後	2	歴史学入門	栗田和典	3312	後	2	心理学入門	西田公昭	13411	
	後	2	生涯発達心理学入門	筆宗一ほか	13411	後	3	くらしと化学A	近藤啓ほか	2108	後	3(英語)	経営分析入門A	上野雄史ほか	2312	後	2	実用科学英語基礎編	太田敏郎	5314	後	2	実用科学英語基礎編	太田敏郎	5314	
	後	3	国際安全保障入門Ⅱ	西恭之	2108	後	3	くらしと化学B	近藤啓ほか	2108	後	3(英語)	経営分析入門B	上野雄史ほか	2312	後	2									
	後	3(英語)	現代日本文化入門A	ファイファー	2109	後	3(しずおか学)	静岡の市民活動	木村 綾	2109	後	3(しずおか学)	茶学入門	中村順行	13411	後	3									
後	3(英語)	現代日本文化入門B	ファイファー	2109	後	3(しずおか学)	健康イノベーション教育プログラム	新井英一ほか	2106	後	3(しずおか学)	静岡地域食料学A	江口智美ほか	2215	後	3(しずおか学)	静岡地域食料学B	江口智美ほか	2215							
後	3(英語)	基礎生命科学Ⅱ	太田敏郎	5314	後	3(しずおか学)	企業経営者に学ぶ静岡のビジネス最前線	上原克仁	4111																	
2	通年	身体運動	身体運動科学A【国際】	鈴木健司	2107	後	1	中級日本語Ⅰ	松尾佳代子	3313	後	3(英語)	英語で学ぶ日本語ⅡA	藤森敦之	2310	通年	身体運動	身体運動科学B【国際・経情】	星野義文	2109						
3	通年	身体運動	身体運動科学B【食品】	牧田浩幸	2107	後	3(しずおか学)	ムセイオン静岡 - MUSEUMと文化	細川光洋ほか	3316	後	3(英語)	英語で学ぶ日本語ⅡB	藤森敦之	2310	後	3(英語)	言語の学習-習得ⅡA	藤森敦之	2312						
4	通年	身体運動	身体運動科学A【食品・経情】	鈴木健司 二見隆亮	4109 2217	通年	身体運動	身体運動科学A【国際】	富田裕一郎	4105	通年	身体運動	身体運動科学A【国際】	富田裕一郎	4105	後	1	TOEICビジネス基礎英語	堀内裕晃	2109						
5	通年	身体運動	身体運動科学A【食品・経情】	鈴木健司 二見隆亮	4109 2217	通年	身体運動	身体運動科学A【経情】	富田裕一郎	4105	通年	身体運動	身体運動科学A【経情】	富田裕一郎	4105	後	1	TOEICビジネス英語Ⅱ	藤森敦之	2312						
5	後	総合科目	ジャーナリズム論	西恭之ほか	2109																					

\*以下の集中講義科目の日程については、別途掲示します。人数制限等を行う予定の授業科目(RB)

開講期	部門	科目名等	人数制限	期別	科目名	制限数:制限方法
前期	3(英語)	英語で学ぶ日本語ⅠA	-	通年	身体運動科学A-B	各クラス240名:抽選(初回講義)
前期	3(英語)	英語で学ぶ日本語ⅠB	-	前期	日本語作文A	※シラバス参照 (日本人学生は留学生の2倍までを目安とする)
前期	3(英語)	言語の学習-習得ⅠA	-	後期	茶学入門	200名:先着順(履修登録)
前期	3(英語)	言語の学習-習得ⅠB	-	後期	心理学入門	200名:先着順(履修登録)
後期	2	文化人類学入門	-	前期	ヒューマン・ケア	110名:先着順(履修登録)
				前期	TOEICビジネス基礎英語	30名:先着順(履修登録)
				前期	社会思想入門	30名:先着順(履修登録)
				前期	男女共同参画社会とジェンダー	50名:先着順(履修登録)

\*以下の集中講義科目の日程については、別途掲示します。

大学コンソーシアム短期集中講義単位互換制度

短期集中	3(しずおか学)	抽選
静岡フィールドスタディ	お茶	
	観光学	
	演劇論	
	南アルプスの自然	
	静岡県の産業イノベーション	
	農林業	
	静岡県西部地域の特性と産業	

黄色 ...しずおか学  
グレー ...英語による科目

教室は、受講者数等の状況により変更される場合があります。

- 下線が引かれている科目は1単位
- 教員名の網掛けは非常勤講師
- 身体運動科学は通年科目で原則【 】内の学部生が対象
- 教室番号は下表を参照

各教室の千番台は号棟、百番台は階数を表す。

2	一般教養棟	
3	国際関係学部棟	例)
4	経営情報学部棟	2103 一般教養棟1階
5	食品栄養科学部棟	13411 看護学部棟4階
6	薬学部棟	
12	食品栄養科学部2号棟	
13	看護学部棟	

【開講期について】  
\*前前、後前は、各学期の1~7回目に実施します。前後、後後は、各学期の8~14回目に実施します。  
(ただし科目によっては、前半を1~8回目、後半を9~16回目に実施しますので、シラバスを参照してください。)  
\*講義開始時の状況により、上記の科目以外でも人数制限したり制限方法を変更したりします。

1時限	9:00~10:30
2時限	10:40~12:10
3時限	13:00~14:30
4時限	14:40~16:10
5時限	16:20~17:50

## 【実務経験のある教員による科目】

令和8年度

〈全学共通科目〉

科目名	教員氏名	単位数
ヒューマン・ケア	飯島本子	2
生物学入門	梅本英司、ほか	2
薬剤発達史入門	内田信也ほか4名	2
生涯発達心理入門	篁宗一、保坂利男ほか3名、特別講師2名	2
知的財産管理入門	居藤湖都	1
環境科学入門	原清敬	2
くらしと化学A	近藤啓	1
くらしと化学B	近藤啓	1
静岡の健康長寿を支える取り組みと人々	特別講師	2
静岡の防災と医療	細岡哲也、特別講師	2
静岡地域食材学A	江口智美、特別講師2名	1
静岡地域食材学B	江口智美、特別講師3名	1
茶学入門	中村順行ほか特別講師9名	2
静岡の市民活動	木村綾	1
ムセイオン静岡－MUSEUMと文化	細川光洋、特別講師	2
ムセイオン静岡－舞台芸術	古川はるな	2
新聞でもっと静岡を知ろう	上原克仁・静岡新聞記者	2
企業経営者に学ぶ静岡のビジネス最前線	上原克仁・静岡県内企業経営者	2
SDGs概論	孫晧剛ほか7名	2
キャリアデザイン概論	東野定律	2
ジャーナリズム論	西恭之、小川和久	2
合計		36

【実務経験のある教員による科目（令和6年度以降入学生対象）】

<経営情報>

科目名	教員氏名	単位数
人的資源管理論	上原 克仁	2
企業論	落合 康裕	2
起業家論	落合 康裕	2
経営戦略論	落合 康裕	2
観光産業論	楊 婕	2
観光経営人材論	楊 婕	2
保健医療システム論	木村 綾	2
地域福祉マネジメント論	木村 綾	2
経営組織論	趙 形基 後藤 耀	2
組織行動論	川杉 桂太	2
財政学	金目 哲郎	2
国際比較経営論	竹下 誠二郎	2
基礎経営学	竹下 誠二郎	2
コーポレート・コミュニケーション	竹下 誠二郎	2
公共経済学	藤本 健太郎	2
社会保障政策論	藤本 健太郎	2
基礎統計学Ⅰ	東野 定律	2
基礎統計学Ⅱ	東野 定律	2
基礎統計学演習	東野 定律	2
医療介護マネジメント論	天野 ゆかり 東野 定律	2
医療介護政策論	天野 ゆかり 東野 定律	2
観光政策論	寺崎 竜雄	2
観光市場学	寺崎 竜雄	2
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	六井 淳	2
数理工学	六井 淳	2
機械学習	六井 淳	2
行財政学概論	松岡 清志	2
行政学	松岡 清志	2
地方自治論	松岡 清志	2
監査論	越智 信仁	2
税務会計論	小川 晃司	2
情報と職業	高橋 等	2
ビジネス実践	上原 克仁 ・ 静岡県内の大手企業の経営者もしくは現役社員	2
画像処理と認識	杉山 岳弘	2
時系列分析	井本 智明	2
経営情報特別講義D	佐野 和成 他	2
地域産業論	芦川 敏洋	2
情報システム開発論	池田 哲夫	2
情報理論	小田 紘久	2
情報科学概論	小田 紘久	2
情報リテラシⅠ	渡邊 貴之 他	2
情報リテラシⅡ	渡邊 貴之 他	2
シミュレーション	渡邊 貴之	2
オブジェクト指向プログラミング	渡邊 貴之	2
Webシステム開発演習	渡邊 貴之	2
合計		90

## 英語科目評価表(令和5年度以降入学生)

※この評価表は、学部の英語TOEIC系科目で適用されます。

### 【英語科目の評価方法】

○1・2年共通

教員授業評価は、2/3以上の出席がある学生に対して行い、課題や演習、期末試験点数を総合して算出。  
教員授業評価が60%未満の場合は一律「不可」。

◆1年前期

TOEIC-IP受験も必須。レベル別評価表(①)による教員授業評価(レベル分けなし、一律Highレベル)とTOEIC-IPスコアを元に、クロス判定表(②)を使用して最終評価を行う。

◆1年後期と2年前期

TOEIC-IP 受験も必須。レベル別評価表(①)による教員授業評価と TOEIC-IP スコアを元に、クロス判定表(②)を使用して最終評価を行う。

◆2年後期

レベル別評価表(①)を使用して、教員授業評価(=最終評価)を行う。(TOEIC-IP 受験なし)

### 【①レベル別評価表(教員授業評価)】

レベル/授業評価	A	B	C	D	E(不可)
Advanced	100-85	84-75	74-65	64-60	59以下
High	100-90	89-80	79-70	69-60	59以下
Middle	100-95	94-85	84-70	69-60	59以下
Low		100-90	89-75	74-60	59以下

### 【②クロス判定表】

1年生 (TOEIC-IPスコアが400点未満でも救済可)

英語科目		TOEIC-IPスコア						
		670以上	600以上	550以上	470以上	400以上	400未満	未受験
教員授業評価	A	秀(100)	秀(95)	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	不可
	B	秀(95)	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	不可
	C	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	可(60)	不可
	D	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	可(60)	不可	不可
	E	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可

2年生 (TOEIC-IPスコアが400点未満または未受験の場合は評価が「不可」)

英語科目		TOEIC-IPスコア						
		730以上	670以上	600以上	550以上	470以上	400以上	400未満・未受験
教員授業評価	A	秀(100)	秀(95)	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	不可
	B	秀(95)	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	不可
	C	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	可(65)	不可
	D	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	可(65)	可(60)	不可
	E	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可

## 英語科目評価表(令和4年度以前入学生)

※この評価表は、学部の英語TOEIC系科目で適用されます。

### 【英語科目の評価方法】

○1・2年共通

教員授業評価は、2/3以上の出席がある学生に対して行い、課題や演習、期末試験点数を総合して算出。  
教員授業評価が60%未満の場合は一律「不可」。

◆1年前期

TOEIC-IP受験も必須。レベル別評価表(①)による教員授業評価(レベル分けなし、一律Highレベル)とTOEIC-IPスコアを元に、クロス判定表(②)を使用して最終評価を行う。

◆1年後期と2年前期

TOEIC-IP 受験も必須。レベル別評価表(①)による教員授業評価と TOEIC-IP スコアを元に、クロス判定表(②)を使用して最終評価を行う。

◆2年後期

レベル別評価表(①)を使用して、教員授業評価(=最終評価)を行う。(TOEIC-IP 受験なし)

### 【①レベル別評価表(教員授業評価)】

レベル/授業評価	A	B	C	D	E(不可)
Advanced	100-85	84-75	74-65	64-60	59以下
High	100-90	89-80	79-70	69-60	59以下
Middle	100-95	94-85	84-70	69-60	59以下
Low		100-90	89-75	74-60	59以下

### 【②クロス判定表】

1年生 (TOEIC-IPスコアが400点未満でも救済可)

英語科目		TOEIC-IPスコア						
		600以上	550以上	500以上	450以上	400以上	400未満	未受験
教員授業評価	A	秀(100)	秀(95)	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	不可
	B	秀(95)	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	不可
	C	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	可(60)	不可
	D	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	可(60)	不可	不可
	E	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可

2年生 (TOEIC-IPスコアが400点未満または未受験の場合は評価が「不可」)

英語科目		TOEIC-IPスコア						
		650以上	600以上	550以上	500以上	450以上	400以上	400未満・未受験
教員授業評価	A	秀(100)	秀(95)	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	不可
	B	秀(95)	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	不可
	C	秀(90)	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	可(65)	不可
	D	優(85)	優(80)	良(75)	良(70)	可(65)	可(60)	不可
	E	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可

(令和6年度以降入学生用)  
静岡県立大学経営情報学部履修細則

令和6年4月1日 細則第15号

## 第1章 目的

(目的)

第1条 この細則は、静岡県立大学学則第42条第2項の規定に基づき、授業科目の履修方法等に関し、必要な事項を定めるものとする。

## 第2章 履修の登録

(履修登録)

第2条 学生は、履修案内に基づき、当該学部において履修しようとする授業科目等を始業後2週間以内に「Web学生サービス支援システム」により登録しなければならない。

2 履修登録していない授業科目は、履修することができない。

(同一時間重複履修の禁止)

第3条 同一時間に開講される授業科目は、重複して履修することができない。重複して履修登録したときはいずれの科目も無効とする。

(既修得授業科目の再履修の禁止)

第4条 既に単位を修得した授業科目は、履修することができない。

(配当年次)

第5条 各授業科目の配当年次は、講義概要のとおりとする。

2 在学年次よりも上位の年次に配当される授業科目は、履修することができない。ただし、特別の事情があると授業科目の担当教員及び教務委員が認める場合はこの限りではない。

(CAP制)

第6条 各学期において履修科目として登録できる単位数について上限を設けることとする。

2 履修科目登録単位数の上限は、当該学生が直前に在学していた学期のGPA（グレードポイント・アベレージ）に基づいて決めることとする。

3 第1項及び第2項の適用除外となる学生及び科目を定めることができる。

## 第3章 試験及び成績の評価

(試験)

第7条 試験は、学期末に定められた期間又は授業科目の担当教員が別に定める日に行う。

(成績の評価)

第8条 成績の評価は、試験及び平素の成績等を総合して授業科目の担当教員がこ

れを行い、秀、優、良、可、不可の5区分とし、可以上を合格として所定の単位を与える。各評語と点数の関係は以下のとおりとする。

入学年度	秀	優	良	可	不可
平成23年度以降	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点

- 2 卒業研究は、合格、不合格の2区分とし、合格した者に所定の単位を与える。
- 3 履修を登録し、単位を修得しなかった授業科目は不可と判定する。

(成績の入力)

第9条 授業科目の担当教員は、試験終了後2週間以内に成績の評価を「Web学生サービス支援システム」に入力する。

(追試験)

第10条 次の理由で、試験を欠席した者については、追試験を行うことができる。

- (1) 病気（ただし、医師の診断書を要する）
- (2) 忌引（1、2親等に限り、死亡の日より1週間以内）
- (3) 就職に関する事由（ただし、具体的に事情の具申あるもの）
- (4) その他やむを得ない事由（ただし、具体的に事情の具申あるもの）

- 2 前項の事由により追試験を希望する者は、定期試験の当該科目試験終了の日から1週間以内に、所定の書式により学生室に届け出なければならない。

(再試験)

第11条 成績不良のため単位の修得ができなかった者に対しては、原則として再試験は行わない。ただし、やむを得ない事情により当該授業科目の担当教員が再試験の必要を認める場合には、これを行うことができる。

(不正行為)

第12条 試験において不正行為を行った者には、当該科目を含むその学期（通年の科目においては年度）の、すべて或いは一部の科目の履修単位を無効とする。又、学則第57条第1項に基づき懲戒処分を行うことがある。

#### 第4章 科目の履修方法

(全学共通科目の履修方法)

第13条 全学共通科目については、必修科目を含む8単位以上を修得しなければならない。ただし、この8単位のうちに「しずおか学」科目群から2単位を含まなければならない。

- 2 第25条に規定する卒業要件に算入できる単位数は、16単位を上限とする。

(学部基礎科目の履修方法)

第14条 学部基礎科目については、40単位を修得しなければならない。

(専門科目の履修方法)

第15条 専門教育科目については、研究導入演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、卒業研究を含め、78単位以上を修得しなければならない。

(メジャー認定と履修方法)

第16条 専門教育科目から定められた科目のうち32単位を履修することにより、経営、総合政策、データサイエンス、観光マネジメントのメジャーの認定を受けることができる。なお、複数のメジャーの認定を受けることもできる。

- 2 経営メジャーについては、経営科目、数理科目（上限8単位）、卒業研究（6単位）から32単位を修得しなければならない。ただし、この32単位に経営戦略論、経営組織論、マーケティングⅠ、原価計算論、ビジネス実践の10単位を含まなければならない。
- 3 総合政策メジャーについては、総合政策科目、数理科目（上限8単位）、卒業研究（6単位）から32単位を修得しなければならない。ただし、この32単位に公共政策論、社会保障政策論、法律学概論の6単位を含まなければならない。
- 4 データサイエンスメジャーについては、情報科目、数理科目、卒業研究（6単位）から32単位を修得しなければならない。ただし、この32単位にアルゴリズムとデータ構造Ⅰ、情報ネットワーク、人工知能、データサイエンス実習の8単位を含まなければならない。
- 5 観光マネジメントメジャーにおいては、観光科目、観光に関連する他分野科目（マーケティングⅠ、消費者行動論、コーポレート・コミュニケーション、公共政策論、地方自治論、行政学、情報セキュリティ、データベース、Webシステム開発演習から上限6単位）、数理科目（上限6単位）、卒業研究（6単位）から32単位を修得しなければならない。ただし、この32単位に観光産業論、観光政策論、観光調査法の6単位を含まなければならない。
- 6 卒業研究（6単位）については、卒業研究の分野がメジャーの分野と一致する場合、メジャーの認定単位（32単位）に含める。

（他学部開講科目の履修方法）

第17条 他学部開講の授業科目を履修しようとするときは、当該授業科目の担当教員の承認を受けなければならない。

- 2 前項に基づいて履修を行う場合は、所定の書式により第2条に定める期間内に学生室に届け出なければならない。
- 3 第1項に基づいて履修した者には、8単位を限度として、専門教育科目として単位の認定を行う。

（他大学等開講科目の履修方法）

第18条 学則第39条第1項の規定に基づき、他大学等開講の授業科目を履修しようとするときは、指導教員の承認を受けなければならない。

- 2 前項に基づいて履修を行う場合は、所定の書式により別に定める期間内に学生室に届け出なければならない。
- 3 第1項に基づいて履修した者には、12単位を限度として、専門教育科目として単位の認定を行う。

（大学以外の教育施設における学修）

第19条 学則第39条第2項に規定する、本学における授業科目の履修とみなし、単

位を与えることができる学修については次のとおりとする。

対象となる学修	授業科目	成績の評価
日本商工会議所主催簿記検定（日商簿記）3級以上合格	簿記論	優
全国商業高等学校協会主催簿記検定（全商簿記）2級以上合格		

2 第1項に定める学修を行った者は、当該授業科目が開講される年度内に、当該学修の成果を証する書類等の原本を添えて、所定の書式により学生室に届け出るものとする。ただし、卒業年次生においては、後学期の試験期間の終了日までに届け出ることとする。

（入学前の既修得単位等の認定）

第20条 学則第40条第2項に規定する、本学入学前に行った学修については前条の規定を準用する。

## 第5章 卒業研究・卒業要件

（研究導入演習及び演習Ⅰの履修）

第21条 研究導入演習及び演習Ⅰを履修するためには、履修しようとする年度の前年度の10月1日において、学部基礎科目について30単位を修得していなければならない。

（演習Ⅱ及び卒業研究の履修）

第22条 研究導入演習及び演習Ⅰを修得していなければ、演習Ⅱ及び卒業研究を履修することができない。

（卒業研究履修資格）

第23条 卒業研究を履修するためには、3年以上在学し、次に定める単位を修得しなければならない。

(1) 全学共通科目 8単位以上

(2) 学部基礎科目 38単位以上

(3) 専門教育科目 44単位以上（ただし、研究導入演習及び演習Ⅰを必ず含むこと。）

2 卒業研究履修資格の有無の決定は、教授会の議を経て学部長が認定する。

（卒業研究）

第24条 卒業研究の取扱いについては、学則に定めるもののほか、別途内規による。

（卒業要件）

第25条 卒業するためには、4年以上在学し、全学共通科目、学部基礎科目、専門教育科目等について第13条から第20条に定める履修方法に従い、合計134単位以上を修得し、かつ、少なくとも一つのメジャーの認定を受けなければならない。

（9月卒業）

第26条 9月卒業をするには、演習Ⅱ及び卒業研究を、卒業しようとする学期の開始前に修得していなければならない。

2 9月卒業をしようとするときは、所定の書式により第2条に定める期間内に学生室に届け出なければならない。

## 第6章 学習成果の把握

(ルーブリックによるディプロマポリシー達成度の把握)

第27条 卒業するためには、学部の定める4つのディプロマポリシーを達成していなければならない。各ディプロマポリシーの達成度はルーブリックにより評価し、全て規定の得点以上を習得しなければならない。

第28条 ルーブリックの達成度はポートフォリオにより学生自身が行い、ポートフォリオ内容について指導教員と学部教務委員会より承認を受けなければならない。

## 第7章 その他

(その他)

第29条 この細則に定めのない事項又はこの細則により難い特別の事情があると認められる事項については、教授会の議によるものとする。

## 附 則

この細則は、令和6年4月1日から施行する。